

Care and Maintenance

INKJET PRINTER
TX330-1800B

お手入れのお願い

本書の最新版は、弊社ホームページからもダウンロードできます。

目次

はじめに	3
安全にお使いいただくために	4
シンボルマーク表示について	4

メンテナンス

1. メンテナンスに関するご注意	6
2. メンテナンスの方法	7
メンテナンス項目とタイミング	7
インクのメンテナンス	8
キャップゴムの清掃	8
キャリッジ底面の清掃	9
ワイパーの清掃	10
NCUの清掃	12
DAS（自動補正機能）センサーの清掃	13
インク排出経路の洗浄	14
ジャムセンサー検出板の清掃	16
引き剥がしローラーの清掃	17
ベルト補正ユニットの清掃	17
カバー（外装）の清掃	19
長期間使用しないときは	19
3. 消耗品の交換	22
消耗品を交換するタイミング	22
ワイパーの交換	23
ワイパークリーナーの交換	24
キャップの交換	26
ステーション周辺の吸収材の交換	28
吹き付けファンフィルターの交換	30
インク供給ユニットのインク吸収材の交換	31
廃インクタンクの交換	32
洗浄水の交換	33
洗浄ユニットのメンテナンス	34
地張り剤の塗り替え	38
洗浄トレイとブラシの清掃	48
搬送ベルトのクリーニング	50
引き剥がしセンサのクリーニング	50
カウンターのリセット	51

はじめに

この度はインクジェットプリンター Tx330-1800Bをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

安全に正しくお使いいただくために、お手入れのお願い（以後、本書と称します）をよくお読みいただき、十分に理解してから使用してください。

本書で使用しているイラストは、機能や手順、操作の説明を目的としており、本機と異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

本書の内容を無断で転載することは禁止されています。

© 2025 株式会社ミマキエンジニアリング










● 免責事項

- Tx330-1800B（以後、本機と称します）の故障有無に関わらず、本機をお使いいただいたことによって生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- 本機により作成された製作物に対して生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- 弊社推奨品以外の装置などを使用すると、火災、または本機の破損事故のおそれがあります。この場合には保証の対象外となります。また、それに対して生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- 弊社純正インク、メンテナンス液をご使用ください。それ以外を使用すると、プリント品質の低下、本機の故障のおそれがあります。この場合には保証の対象外となります。また、それに対して生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- インクパックのインクを詰め替えないでください。この場合には保証の対象外となります。また、それに対して生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。

安全にお使いいただくために

シンボルマーク表示について

本書では、シンボルマーク表示により操作上の注意内容を説明しています。各マークの持つ意味を十分理解して、本機を安全に正しくお使いください。

内 容		
	警告	この指示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡、または重傷のおそれがある内容を示しています。
	注意	この指示を無視して誤った取り扱いをすると、軽傷、または中程度の負傷のおそれがある内容を示しています。
	注記	この指示を無視して誤った取り扱いをすると、財産の損害が発生するおそれがある内容を示しています。
	一般警告	注意しなければならない事項を示しています。具体的な警告内容は、マークの中に描かれています。
	一般強制指示	実行しなければならない事項を示しています。具体的な強制指示内容は、マークの中に描かれています。
	一般禁止	してはいけない事項を示しています。具体的な禁止内容は、マークの中に描かれています。
	重要	本機をお使いいただく上で、知っておいていただきたい事項を示しています。
	ヒント	知っておくと便利な事項を示しています。
	参照情報	関連する内容の参照ページを示しています。

メンテナンス

本機の精度を保ちながら末永くお使いいただけるように、使用頻度に応じて定期的にお手入れをしてください。
メンテナンスに関する注意事項をよくお読みになってから、お手入れをしてください。

1. メンテナンスに関するご注意



- 定期的に交換しなければならない部品がありますので、保守契約をしていただくことをお勧めします。また品質不良や事故を未然に防ぐために、定期的にメンテナンスしたり、消耗品を交換したりしてください。

⚠ 警告



- 定期的に清掃してください。本機を長年使用していると、電気部品にゴミやホコリがたまってしまう。漏電による本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。
- エアブローなどエア吹き付けによる清掃はしないでください。飛散したゴミやホコリが電気部品に侵入して、本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞ってからふき取ってください。もしくは、掃除機などで吸い取ってください。



- 本機の内部に液体が入らないように注意してください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。

⚠ 注意



- 汚れが目立つときは、柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞ってからふき取ってください。



- インクやメンテナンス液、廃インク、そのほか本機で使用されている液体を取り扱うときは、換気に十分注意して、必ず保護メガネ、手袋、マスクなどを着用してください。インクなどの液体が跳ねて、皮膚に付着したり、目や口の中に入ったりするおそれがあります。



注記



- プリントヘッドのノズル面には、絶対に触れないでください。また、水やアルコールを付着させないでください。本機の故障や吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。
- ヘッドの周辺やキャリッジの周辺を清掃するときは、綿棒を使わないでください。綿棒の繊維がヘッドノズル面に付着すると、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。
- カバーにインクやメンテナンス液を付着させないでください。カバーの表面が変質したり、変形したりする原因になります。
- ベンジン、シンナーや研磨剤の入った薬品は使用しないでください。部品が変質したり、変形したりする原因になります。
- アセトン、IPAなどの有機溶剤は使用しないでください。本機が故障する原因になります。
- キャリッジを手動で移動しないでください。キャリッジを移動したいときは、メニューからキャリッジアウトを実行してください。

2. メンテナンスの方法

メンテナンス項目とタイミング

タイミング	項目
1日に1度、作業が終わったとき	ワイパー周辺を清掃してください。☞ 「ワイパーの清掃」 (P. 10)
3日に1度、作業を始めるとき	インクを振ってください。☞ 「インクのメンテナンス」 (P. 8)
3日に一度、作業が終わったとき	本機左下の廃インクタンクに溜まったインク類を廃棄してください。
1週間の作業が終わったとき	キャップゴムを清掃してください。☞ 「キャップゴムの清掃」 (P. 8)
	キャリッジの底面を清掃してください。☞ 「キャリッジ底面の清掃」 (P. 9)
	廃インクタンクの廃インク量を確認してください。☞ 「メッセージ“廃インクタンク確認”が表示されたら」 (P. 32)
	引き剥がしローラーの掃除をしてください。☞ 「引き剥がしローラーの清掃」 (P. 17)
	ベルト補正ユニットの掃除をしてください。☞ 「ベルト補正ユニットの清掃」 (P. 17)
	インク排出の経路を清掃してください。☞ 「インク排出経路の洗浄」 (P. 14)
2週間の作業が終わったとき	吹き付けファンフィルターを清掃してください。
1か月に1度	NCUを清掃してください。☞ 「NCUの清掃」 (P. 12)
	DASセンサーを清掃してください。☞ 「DAS (自動補正機能) センサーの清掃」 (P. 13)
	メディアセンサーを清掃してください。
	ジャムセンサー検出板を清掃してください。☞ 「ジャムセンサー検出板の清掃」 (P. 16)
	ピンチローラー、グリットローラーを清掃してください。ピンチローラー、グリットローラーの清掃
	カバー (外装) を清掃してください。☞ 「カバー (外装) の清掃」 (P. 19)
1週間以上使わないとき	キャップの清掃、インク排出経路の洗浄をしてください。清掃が終了したあとは、主電源は切らずに保管してください。☞ 「長期間使用しないときは」 (P. 19)

メンテナンスに必要な道具

消耗品は、販売店、またはお近くの弊社営業所にてお買い求めください。消耗品は、弊社ウェブサイト (<https://japan.mimaki.com/supply/inkjet.html>) にてご覧になれます。



- ・ 消耗品を子供が立ち入るおそれのある場所に保管しないでください。

インクのメンテナンス

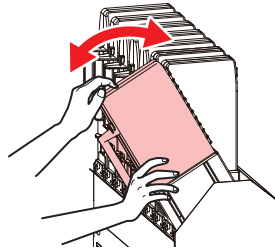
インクに含まれている成分が沈降すると、インクの濃度が不均等になってしまうおそれがあります。安定してプリントしていただくために、定期的にインクを振っていただくことをお勧めします。

3日に1回程度。

- 重要!** ・ インク供給ユニットからインクエコケースを抜かないように振ってください。インクエコケースが外れるとインクが漏れるおそれがあります。

1 インクエコケースを10回程度ゆっくりと振る。

- ・ インクエコケースの上部を押さえながら手前に前後します。



- ・ 必ずインクエコケースの上部を押さえながら手前に前後してください。上部を押さえないとインクエコケースが抜けて、インクが漏れるおそれがあります。

キャップゴムの清掃

キャップは、プリントヘッドのノズル面を乾燥から守る役割があります。汚れたまま使い続けると、インクの吸引が正常にできなくなって、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）のおそれがあります。



- ・ クリーンスティックの欠片が残らないように清掃してください。欠片が残っていると、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。

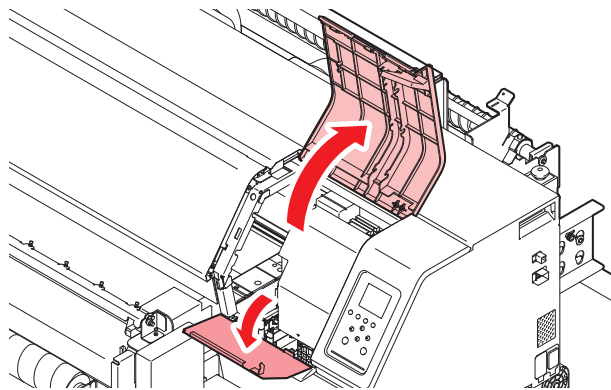
1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- ・ メンテナンスメニューが表示されます。

2 [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [プラテン右端まで移動]を選択して、[ENTER]キーを押す。

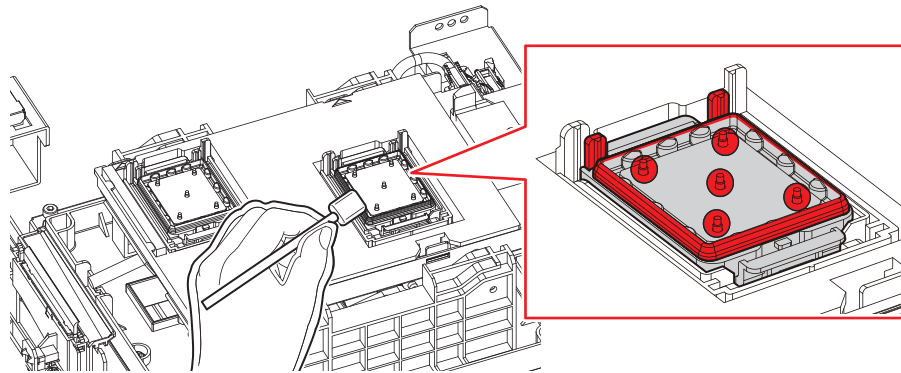
- ・ キャリッジがプラテン上に移動します。

3 右側のメンテナンスカバーを開く。



4 キャップゴムを清掃する。

- メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで、付着したインクやホコリを拭き取ります。メンテナンス液が残らないように拭き取ってください。
- イラストの赤色（キャップゴムの内側/外側全周とツメ、メッシュ固定部）の部分を清掃します。



5 メンテナンスカバーを閉じて、[ENTER]キーを押す。

キャリッジ底面の清掃

キャリッジ底面は、ワイパーで拭き取ったインクが付着しています。汚れたまま使い続けると、固まったインクや付着したホコリがメディアをこすり付けて、成果物を汚してしまう原因になります。

また、プリントヘッドは非常に微細なメカニズムを採用しております。お手入れの際には十分な注意が必要です。



- クリーンスティックの欠片が残らないように清掃してください。欠片が残っていると、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。

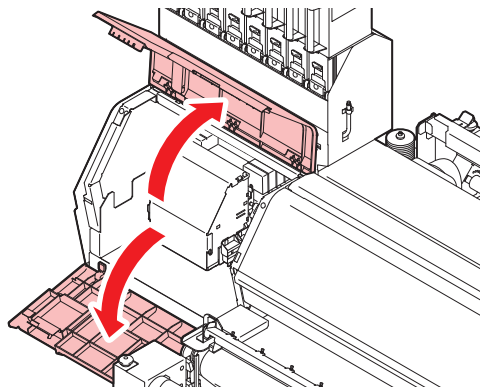
1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- メンテナンスメニューが表示されます。

2 [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [メンテスペースまで移動]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- キャリッジがメンテナンススペースに移動します。

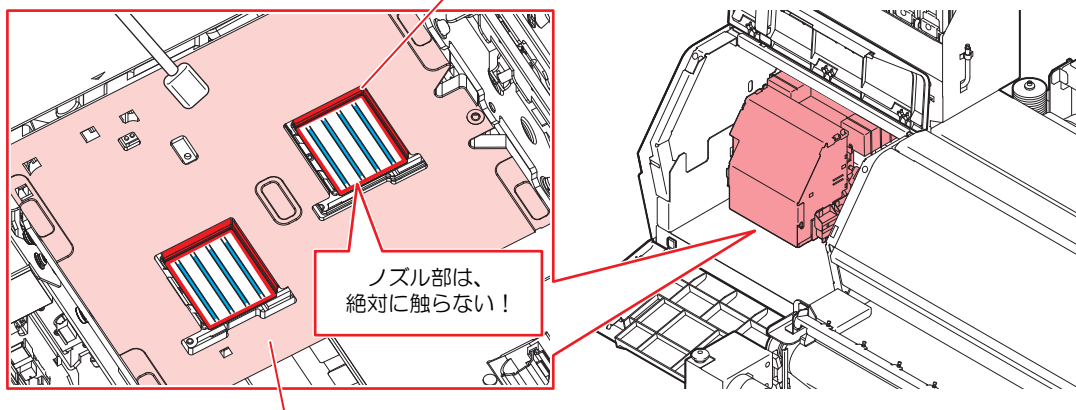
3 左側のメンテナンスカバーを開く。



4 プリントヘッド周辺を清掃する。

- メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで、付着したインクやホコリを拭き取ります。メンテナンス液が残らないように拭き取ってください。

プリントヘッドの側面とノズルプレート全周は、クリーンスティックで清掃します。



クリーンスティック、または柔らかい布で清掃します。



- プリントヘッドのノズル部（イラストの青色部分）には、絶対に触れないでください。

5 清掃が終わったらカバーを閉じて、[ENTER]キーを押す。

ワイパーの清掃

ワイパーは、プリントヘッドのノズル面に付着したインクを拭き取っています。ワイパーが汚れたまま使い続けると、固まったインクやホコリの付着したワイパーがノズル面をこすり付け、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。



- クリーンスティックの欠片が残らないように清掃してください。欠片が残っていると、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。

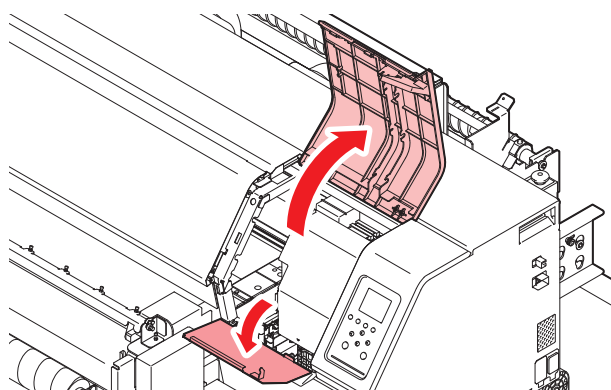
1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- メンテナンスメニューが表示されます。

2 [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [プラテン右端まで移動]を選択して、[ENTER]キーを押す。

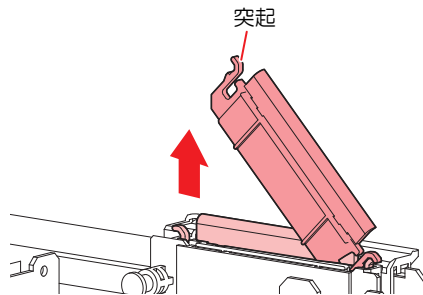
- キャリッジがプラテン上に移動します。

3 右側のメンテナンスカバーを開く。



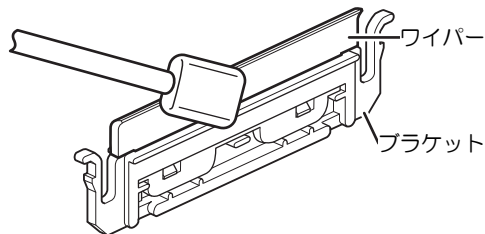
4 ワイパーを外す。

- ・ワイパーブラケット後方の突起を持って引き抜きます。



5 ワイパーとブラケットを清掃する。

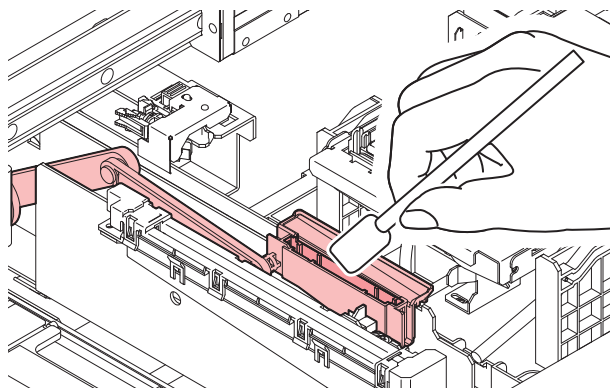
- ・メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで、付着したインクやホコリを拭き取ります。メンテナンス液が残らないように拭き取ってください。



- ・ワイパーの汚れや反りが激しいときは、新しいワイパーに交換してください。ワイパーの交換

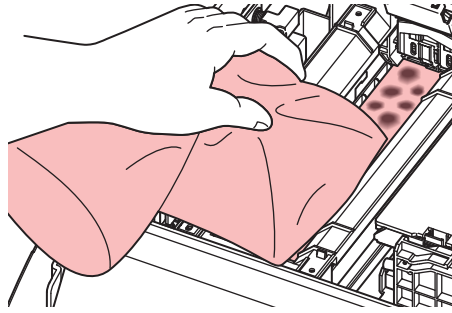
6 ワイパーライダーを清掃する。

- ・メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで、付着したインクやホコリを拭き取ります。メンテナンス液が残らないように拭き取ってください。

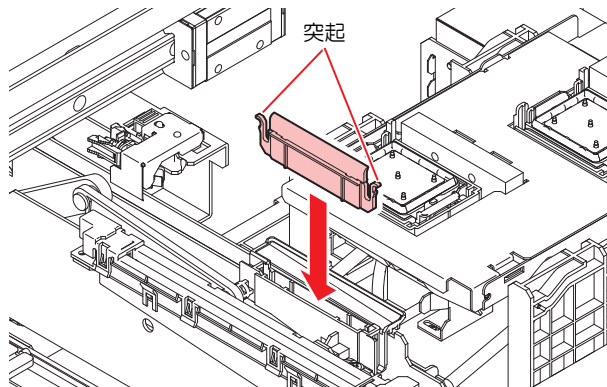




- 吸収剤ケースの中に、大量のインクが入っている場合、吸水ペーパー等で吸い取ってください。



7 ワイパーを元の位置にセットする。



8 清掃が終わったらカバーを閉じて、[ENTER]キーを押す。

NCUの清掃

NCUは、プリントヘッドのノズルから吐出インク滴をセンサーで監視しています。汚れたまま使い続けると、ノズルチェック機能が正常に動作しないおそれがあります。



- クリーンスティックの欠片が残らないように清掃してください。欠片が残っていると、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。

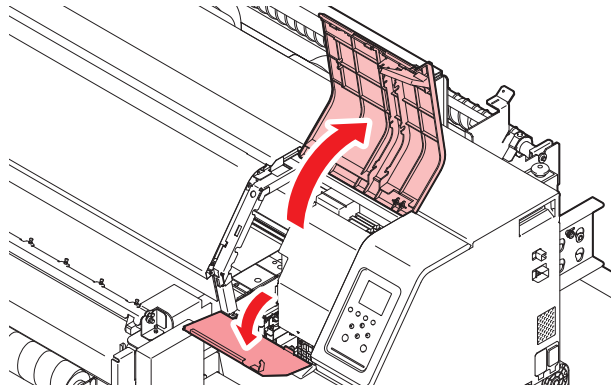
1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- メンテナンスメニューが表示されます。

2 [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [プラテン右端まで移動]を選択して、[ENTER]キーを押す。

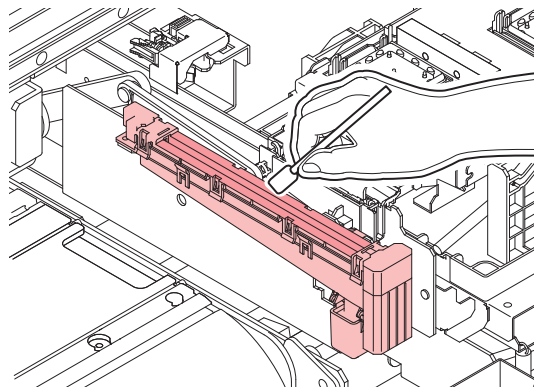
- キャリッジがプラテン上に移動します。

3 右側のメンテナンスカバーを開く。

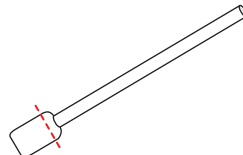


4 NCUを清掃する。

- ・メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで、付着したインクやホコリを拭き取ります。メンテナンス液が残らないように拭き取ってください。



- ・クリーンスティックは、イラストの位置まで挿し込んでください。



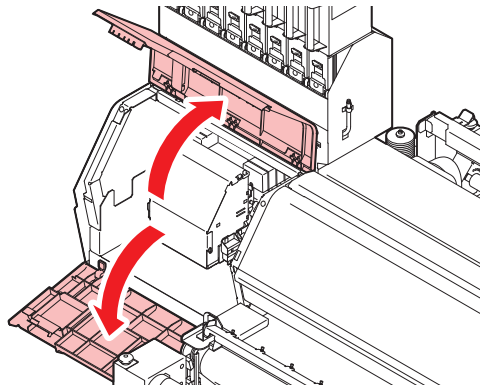
5 清掃が終わったらカバーを閉じて、[ENTER]キーを押す。

DAS（自動補正機能）センサーの清掃

キャリッジ底面に、DASセンサーが付いています。センサーにホコリやゴミがたまると、DAS（メディア設定メニュー）が実行できないおそれがあります。

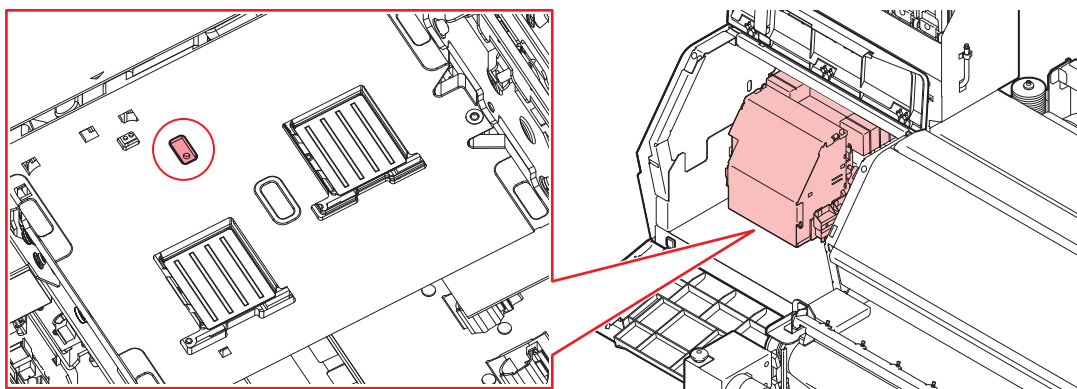
- 1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ・メンテナンスメニューが表示されます。
- 2 [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [メンテスペースまで移動]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ・キャリッジがメンテナンススペースに移動します。

3 左側のメンテナンスカバーを開く。



4 DASセンサーを清掃する。

- ・ 綿棒や柔らかい布で拭き取ってください。



- ・ 汚れが目立つときは、柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞ってからふき取ってください。

5 清掃が終わったらカバーを閉じて、[ENTER]キーを押す。

インク排出経路の洗浄

キャップ下のインク排出経路のインク詰まりを防止するため、定期的にインク排路の洗浄をしてください。

1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- ・ メンテナンスメニューが表示されます。

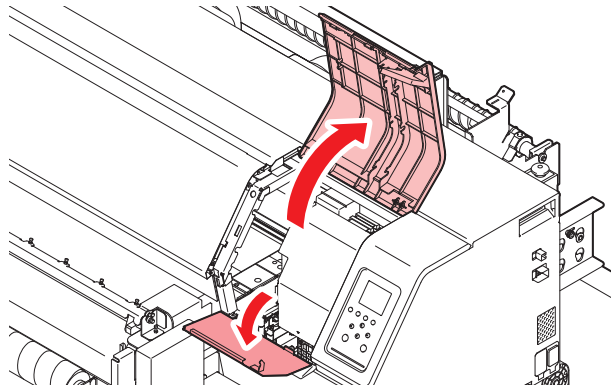
2 [ステーションメンテ] > [ポンプチューブ洗浄]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- ・ キャップにメンテナンス液が満たされます。



- ・ カバーを閉じてください。カバーが開いたままだと、メンテナンス液を満たすことができません。また、メンテナンス液カートリッジの残量がない場合は、メンテナンス液を満たすことができません。

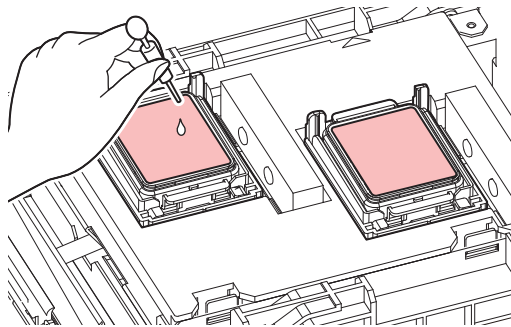
3 右側のメンテナンスカバーを開く。



- キャップの半分程度メンテナンス液が溜まっていることを確認する。



- メンテナンス液が確認できない場合は、スポイトにメンテナンス液をとって、キャップの半分程度メンテナンス液を滴下してください。



- キャップの半分程度メンテナンス液が入っているかどうかを確認する。



- メンテナンス液が確認できない場合は、スポイトにメンテナンス液をとって、キャップの半分程度までメンテナンス液を満たしてください。

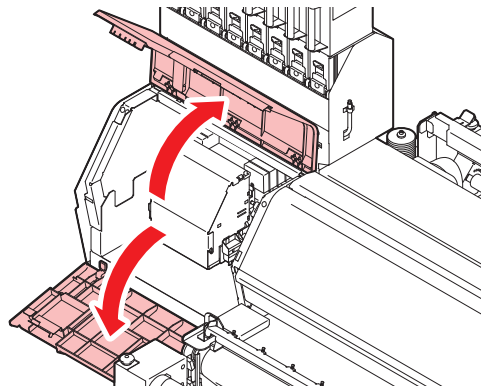
4 メンテナンスカバーを閉じて、[ENTER]キーを押す。

- ポンプチューブ（キャップ下のインク排出経路）の洗浄を開始します。

ジャムセンサー検出板の清掃

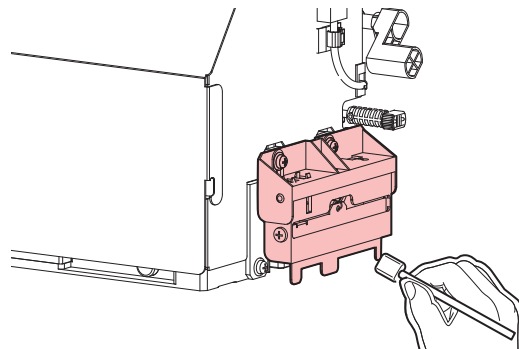
汚れたまま使い続けると、固まったインクや付着したホコリがメディアをこすり付けて、成果物を汚してしまう原因になります。

- 1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ・ メンテナンスメニューが表示されます。
- 2 [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [メンテスペースまで移動]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ・ キャリッジがメンテナンススペースに移動します。
- 3 左側のメンテナンスカバーを開く。



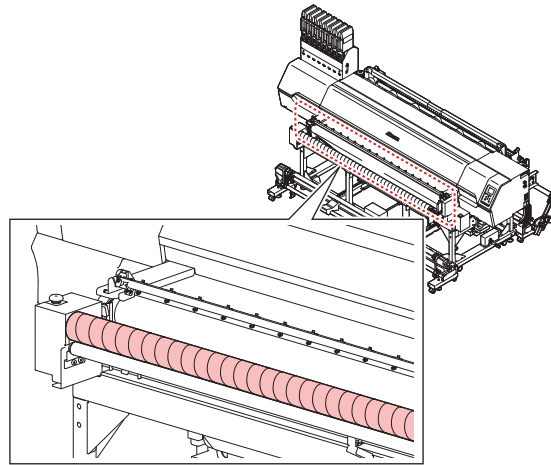
4 ジャムセンサー検出板を清掃する。

- ・ キャリッジ左右のジャムセンサー検出板の下部を清掃します。
- ・ メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで、付着したインクやホコリを拭き取ります。メンテナンス液が残らないように拭き取ってください。



5 清掃が終わったらカバーを閉じて、[ENTER]キーを押す。

引き剥がしローラーの清掃



- 汚れが目立つときは、柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞ってからふき取ってください。

ベルト補正ユニットの清掃

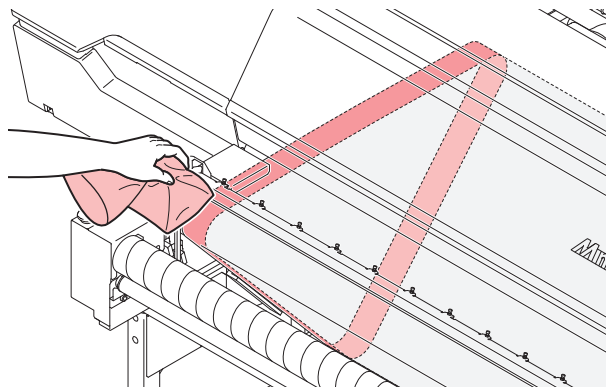
搬送ベルトに塗った地張り剤が、ベルト補正ユニットのグリップゴムに付着することがあります。グリップゴムに地張り剤が付着したままだと、ベルト補正ユニットがスリップして印刷品質が低下する原因になります。ベルト補正ユニットのグリップゴムと搬送ベルトの端面20 mm（正面から見て左側を全周）を、定期的に清掃してください。（1週間に1回程度）



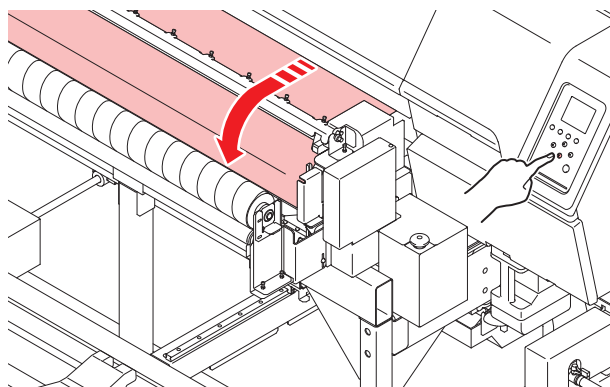
- 主電源を切って電源ケーブルを抜いてからメンテナンスをしてください。

1 搬送ベルトの端面を清掃する。

- アルコールをしみこませたウェスで、搬送ベルトの左端面20 mm を拭いてください。



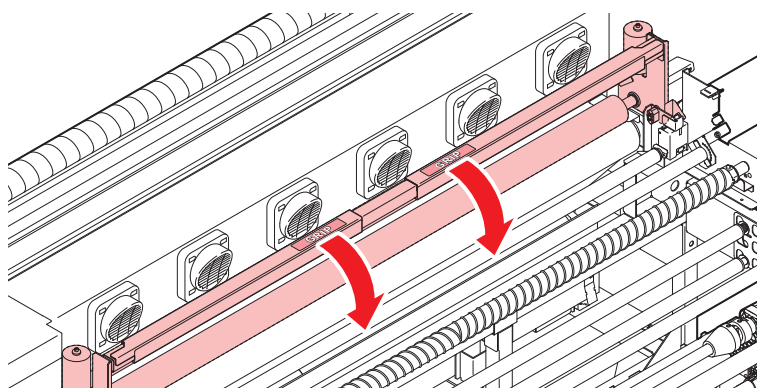
- 2 [メンテナンス]>[ベルトメンテナンス]>[ベルトクリーニング]で回数を指定し、ベルトをフィードします。



- 3 手順1、2を繰り返し、全周を清掃する。

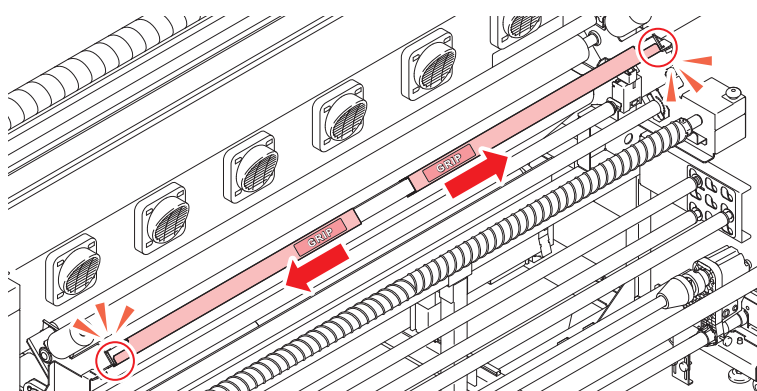
- 4 加圧ローラーを上げる。

- 両手で「GRIP」部を持ち、手前に引いてください。

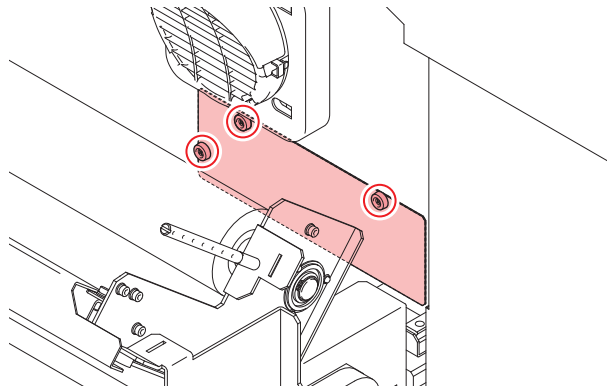


- 5 加圧ローラーをロックする。

- 両手で「GRIP」部を持ち、外側にスライドしてください。
- 確実に左右がロックされていることを確認してください。

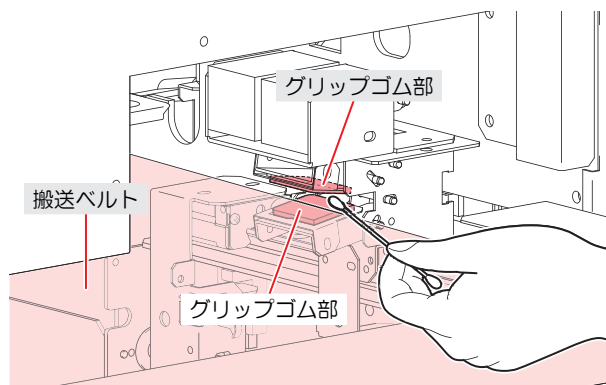


6 メンテカバーを取り外す。



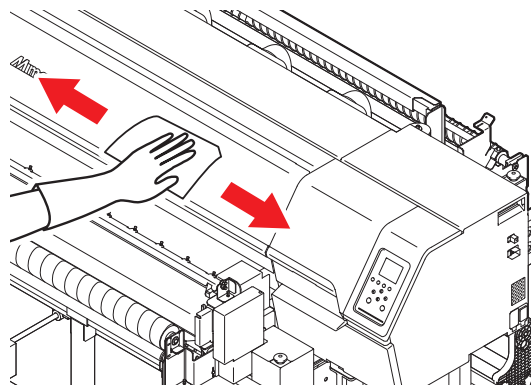
7 グリップゴムを清掃する。

- アルコールをしみこませた綿棒で、搬送ベルトの上下にあるグリップゴム部を拭いてください。



8 メンテカバーを取り付ける。

カバー（外装）の清掃



- 本機の内部に液体が入らないように注意してください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。



- 汚れが目立つときは、柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞ってからふき取ってください。

長期間使用しないときは

1週間以上使用しないときは、以下の内容にしたがって清掃してください。

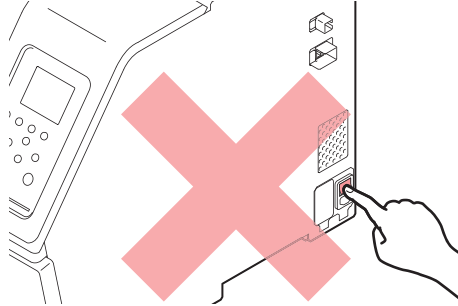
事前に確認してください

[ニアエンド]、[インクエンド]は表示していませんか？

- ・洗浄動作の際に、メンテナンス液やインクを吸引します。このとき、エラーが発生していると洗浄ができません。新しいインクに交換してください。



- ・主電源を切らないでください。主電源を切っていると、オートメンテナンス機能（ノズル詰まり防止機能やインク排出経路の清掃機能など）が実行することができません。吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。



- ・ベルト上にメディアをセットしたまま放置しないでください。メディアが波打つ原因になります。



- ・ディスプレイに「廃インクタンク確認」が表示されたら、本機の右に設置した廃インクタンクのインクを捨ててください。

☞ 「廃インクタンクの交換」 (P. 32)

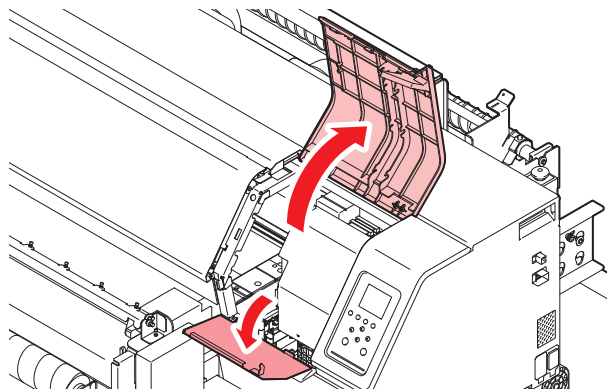
1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- ・メンテナンスメニューが表示されます。

2 [ステーションメンテ] > [保管洗浄]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- ・キャリッジがプラテン上に移動します。

3 右側のメンテナンスカバーを開く。



4 キャップゴムを清掃する。

- ・☞ 「キャップゴムの清掃」 (P. 8)

5 清掃が終わったらカバーを閉じて、[ENTER]キーを押す。

- ・キャップにメンテナンス液が満たされます。



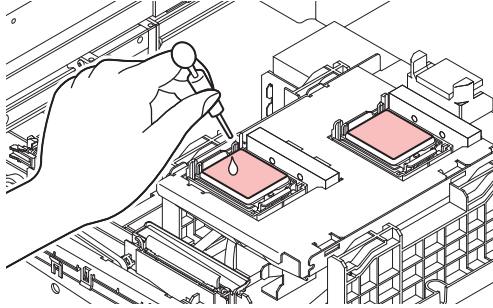
- ・カバーを閉じてください。カバーが開いたままでは、メンテナンス液を満たすことができません。また、メンテナンス液カートリッジの残量がない場合は、メンテナンス液を満たすことができません。

6 右側のメンテナンスカバーを開く。

- キャップいっぱいメンテナンス液が満たされているかどうかを確認する。



- メンテナンス液が満たされていない場合は、スポイトにメンテナンス液をとって、キャップからあふれる寸前までメンテナンス液を満たしてください。

**7** メンテナンスカバーを閉じる。**8** 放置時間を設定して、[ENTER]キーを押す。

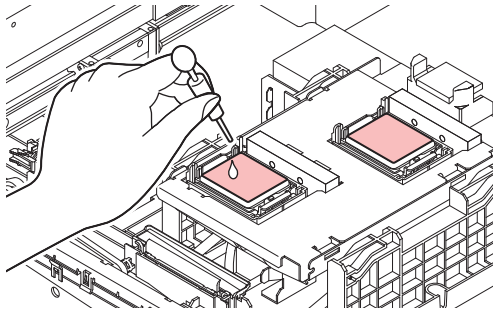
- プリントノズルの洗浄が終了すると、自動的にクリーニングを実行します。
- キャップにメンテナンス液が満たされます。

9 右側のメンテナンスカバーを開く。

- キャップの半分程度メンテナンス液が満たされているかどうかを確認する。



- メンテナンス液が確認できない場合は、スポイトにメンテナンス液をとって、キャップの半分程度までメンテナンス液を満たしてください。

**10** メンテナンスカバーを閉じて、[ENTER]キーを押す。

- ポンプチューブ（キャップ下のインク排出経路）の洗浄を開始します。

3. 消耗品の交換

消耗品は、販売店、またはお近くの弊社営業所にてお買い求めください。消耗品は、弊社ウェブサイト (<https://japan.mimaki.com/supply/inkjet.html>) にてご覧になれます。



- ・ 消耗品を子供が立ち入るおそれのある場所に保管しないでください。



- ・ 消耗品を廃棄するときは、産業廃棄物処理業者、または関連法規、および地方自治体の条例に従って処理してください。

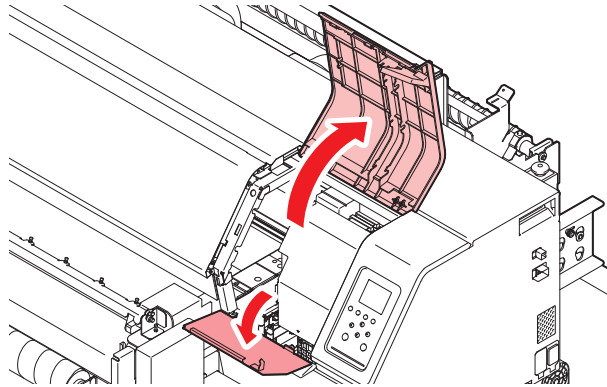
消耗品を交換するタイミング

タイミング	項目
汚れていたら	<ul style="list-style-type: none"> ☞ 「ステーション周辺の吸収材の交換」 (P. 28) ☞ 「ワイパーの交換」 (P. 23) ☞ 「吹き付けファンフィルターの交換」 (P. 30)
吐出不良が直らないとき	<ul style="list-style-type: none"> ☞ 「キャップの交換」 (P. 26) ☞ 「ワイパーの交換」 (P. 23)
破損があるとき	<ul style="list-style-type: none"> ☞ 「ワイパーの交換」 (P. 23) ☞ 「キャップの交換」 (P. 26)
インクを交換するとき	☞ 「インク供給ユニットのインク吸収材の交換」 (P. 31)
ディスプレイに“ワイパーの交換”が表示されたら	☞ 「ワイパーの交換」 (P. 23)
ディスプレイに“廃インクタンク確認”が表示されたら	☞ 「廃インクタンクの交換」 (P. 32)
1年に1度	☞ 「ワイパークリーナーの交換」 (P. 24)
毎日	☞ 「洗浄水の交換」 (P. 33)

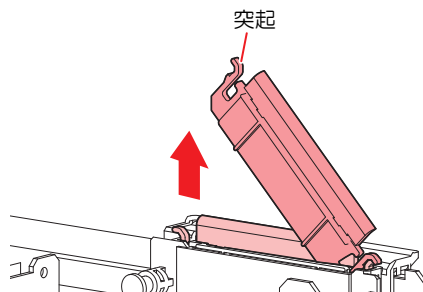
ワイパーの交換

本機はワイピング回数をカウントしています。規定値になるとディスプレイに“ワイパー交換”が表示されます。ワイパーの汚れや反りが激しいときは、新しいワイパーに交換してください。

- 1 ディスプレイに“ワイパー交換”が表示される。
- 2 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ・ メンテナンスメニューが表示されます。
- 3 [ステーションメンテ] > [ワイパー交換]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ・ キャリッジがプラテン上に移動します。
- 4 右側のメンテナンスカバーを開く。

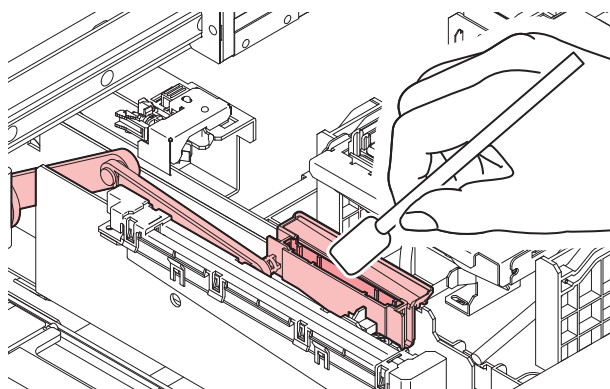


- 5 ワイパーを外す。
 - ・ ワイパーブラケット後方の突起を持って引き抜きます。

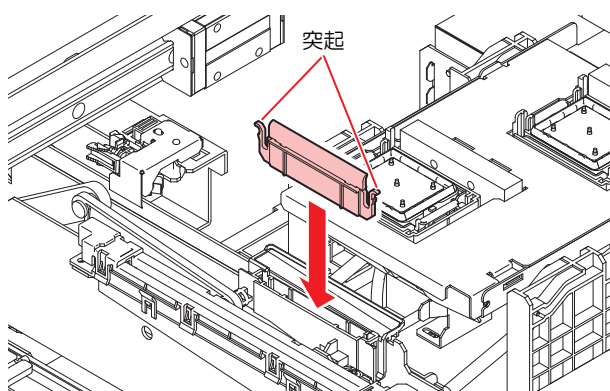


6 ワイパーライダーを清掃する。

- メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで、付着したインクやホコリを拭き取ります。メンテナンス液が残らないように拭き取ってください。



7 新しいワイパーをセットする。



8 交換が終わったらカバーを閉じて、[ENTER]キーを押す。

- ワイパーの使用回数が初期化されます。

ワイパークリーナーの交換

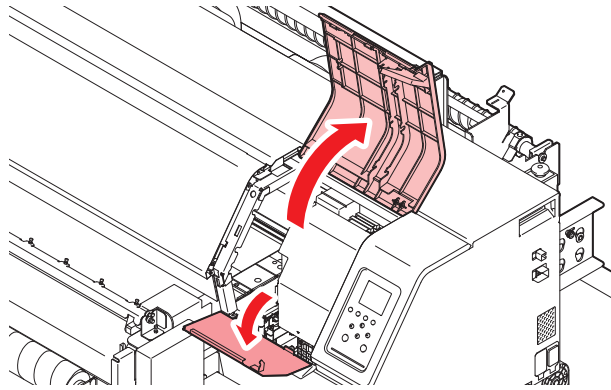
1年に一度、新しいワイパークリーナー（SPC-0243）に交換してください。

1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。

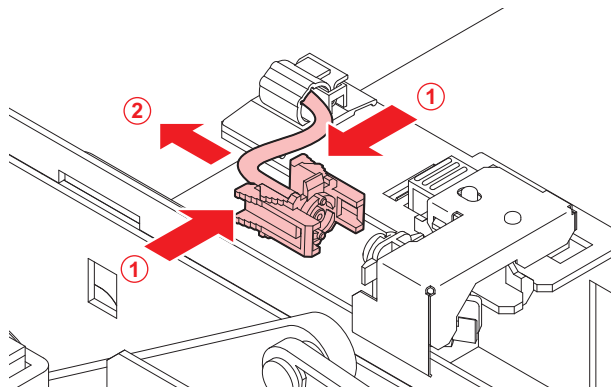
- メンテナンスメニューが表示されます。

2 [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [プラテン右端まで移動]を選択して、[ENTER]キーを押す。

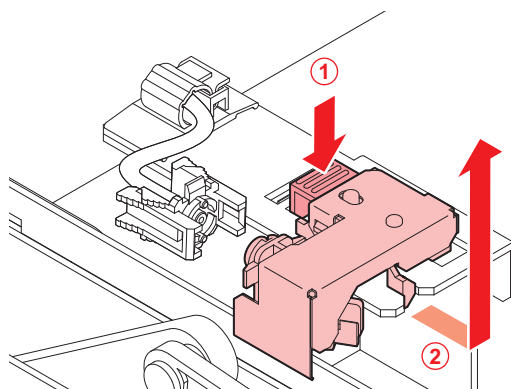
- キャリッジがプラテン上に移動します。

3 右側のメンテナンスカバーを開く。**4** フィッティングを外す。

- フィッティングの突起を持って、引き抜きます。
- シールゴムの紛失に注意してください。

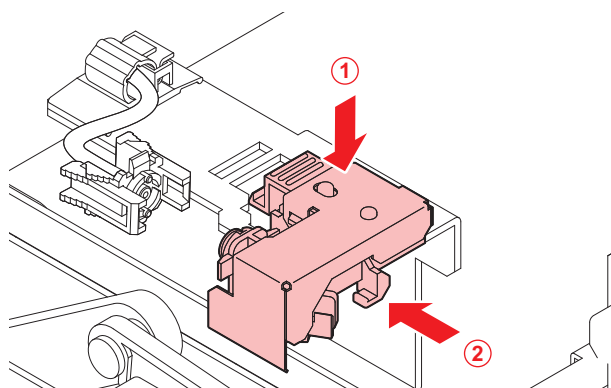
**5** ワイパークリーナーを外す。

- 手前に引いて外します。



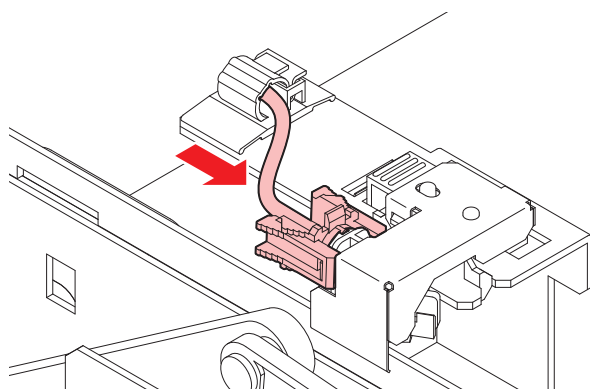
6 新しいワイパクリーナーをセットする。

- ・ 奥にスライドさせて取り付けます。



7 フィッティングを付ける。

- ・ 正しく装着していないと、メンテナンス液が漏れるおそれがあります。



8 交換が終わったらカバーを閉じて、[ENTER]キーを押す。

キャップの交換

クリーニングしても吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）が直らない場合は、新しいキャップに交換してください。



- ・ キャップのフチに傷などの破損がみられる場合は必ず交換してください。



- ・ S_Bインク、TPインクをご使用の場合、長期間使用するとキャップ表面が乾燥し経路が詰まりやすくなります。その場合はキャップを交換するか外して丸洗いしてください。



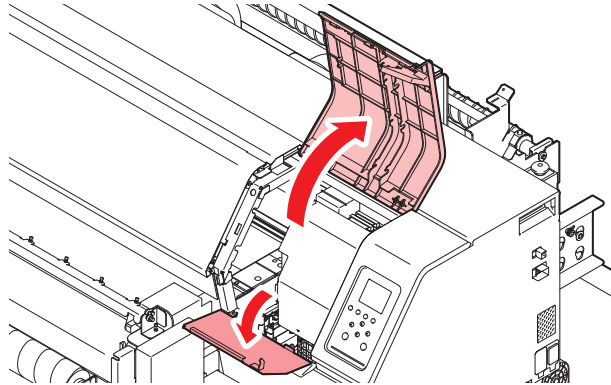
- ・ 6か月～12か月ごとにキャップの交換をお勧めします。
（TPインク：6か月、その他インク：12か月を推奨）

1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。

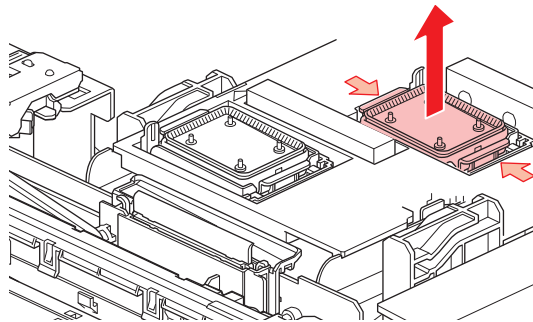
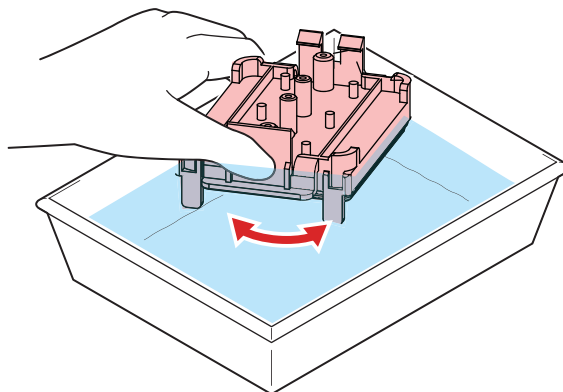
- ・ メンテナンスメニューが表示されます。

2 [ステーションメンテ]>[キャップ交換]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- ・ キャリッジがプラテン上に移動します。

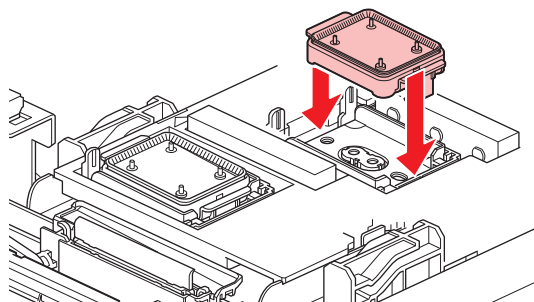
3 右側のメンテナンスカバーを開く。**4** キャップを外す。

- ・ キャップ両端の突起を押し込みながら、引き抜きます。

**5** 【Sbインク、TPインクの場合】メンテナンス液を溜めた容器でキャップのメッシュの面を下にしてゆすいでください。取り出したら樹脂部分はしっかりと拭き取ってください。**6** メンテナンス液を塗布する。

- ・ スポイトにメンテナンス液をとって、手前の穴に1~2滴塗布してください。

- 新しいキャップ、または丸洗いしたキャップをセットする。
 - 切り欠きを手前にして、カチッと音がするまではめ込みます。

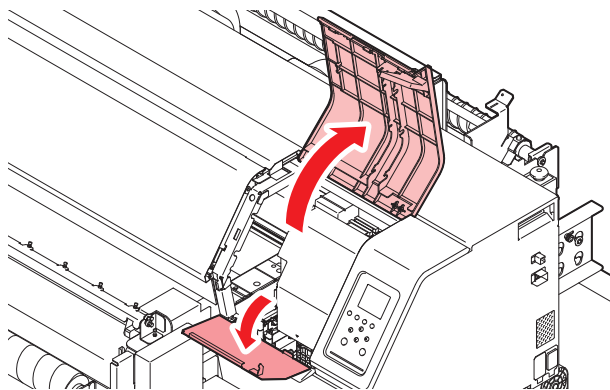


- 交換が終わったらカバーを閉じて、[ENTER]キーを押す。

ステーション周辺の吸収材の交換

キャップ吸収材やメンテナンス液吸収材の汚れが激しいときや、メディアにボタ落ちなどがみられる場合は、新しいキャップ吸収材に交換してください。

- ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - メンテナンスメニューが表示されます。
- [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [プラテン右端まで移動]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - キャリッジがプラテン上に移動します。
- 右側のメンテナンスカバーを開く。



- キャップ吸収材を外す。



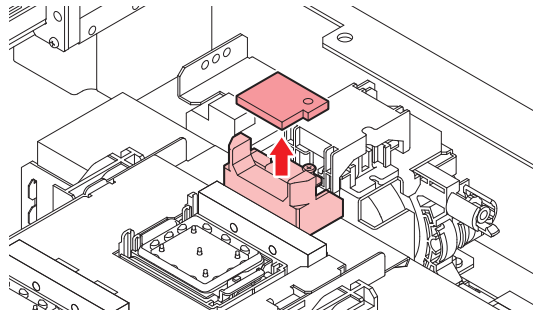
・ キャップ吸収材を外したときに、インクが垂れないように注意してください。

- 新しいキャップ吸収材をセットする。

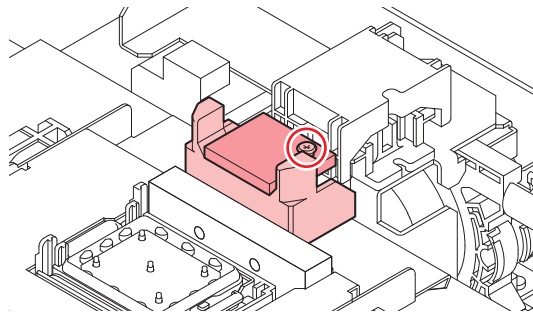
・ キャップ吸収材のスリットにプレートのツメを押し込んでください。



・ キャップ吸収材が、外れないことを確認してください。

6 メンテナンス液吸収材を外す。**7** スライダーブロック周辺のメンテナンス液を拭き取る。**8** 新しいメンテナンス液吸収材をセットする。

- ・ 突起にしっかり挿し込んでください。

**9** 吸収材が浮いていたり、反っていたりしていないかどうかを確認する。**10** 交換が終わったらカバーを閉じて、[ENTER]キーを押す。

吹き付けファンフィルターの交換

吹き付けファンフィルターが汚れたときは交換してください。

- 重要!** 昇華転写インクを使用されている場合
- 3か月に1度は、フィルターを交換してください。

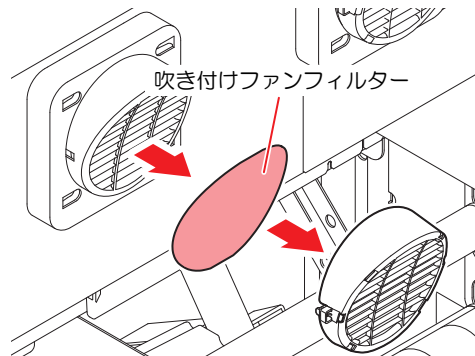


- 主電源を切って電源ケーブルを抜いてから交換してください。

1 ファンフィルターカバーを外す。

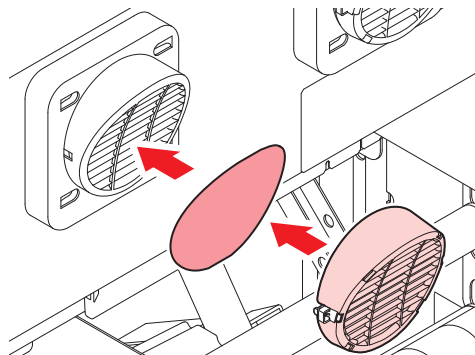
- ファンフィルターカバーのツメを外側に押して、カバーを手前に引っぺがります。

2 フィルターを外す。



3 新しいフィルターとファンフィルターカバーをセットする。

- ファンフィルターカバーは、ツメがカチッと音がするまではめ込みます。



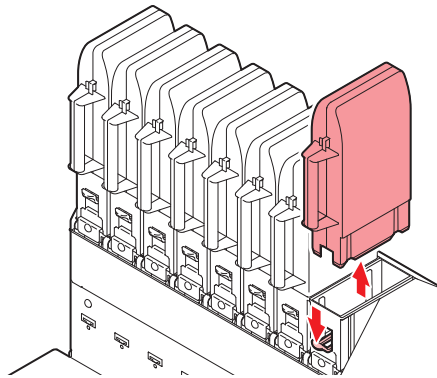
インク供給ユニットのインク吸収材の交換

インク供給ユニットの台座の汚れを防止するために、インクパックを交換するたびにインク吸収材の交換をお勧めします。

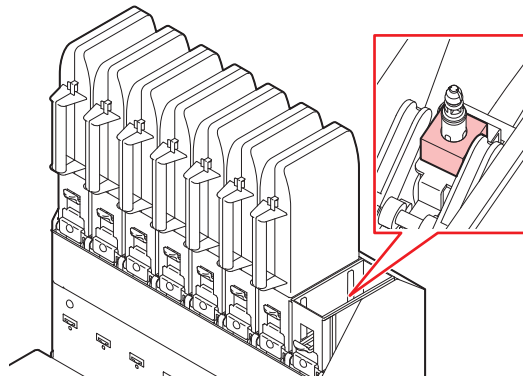


- インクやメンテナンス液、廃インク、そのほか本機で使用されている液体を取り扱うときは、換気に十分注意して、必ず保護メガネ、手袋、マスクなどを着用してください。インクなどの液体が跳ねて、皮膚に付着したり、目や口の中に入ったおそれがあります。

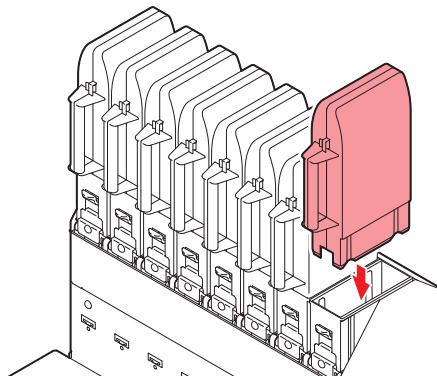
- 1 台座のレバーを押し下げて、インクエコケースを外す。



- 2 吸収材を外して、新しい吸収材をセットする。



- 3 台座にエコケースをセットする。



廃インクタンクの交換

プリントやヘッドクリーニングなどで使用したインクは、本機左右にある廃インクタンクにたまります。



- 2Lタンクの容量が80%（1.6L）が規定値です。
- 廃インクを廃棄せずに使い続けると、廃インクタンクから廃インクがあふれ出るおそれがあります。1週間に1回を目安に、廃インクタンクの液量を目視でご確認頂くことをお勧めいたします。



- インクやメンテナンス液、廃インク、そのほか本機で使用されている液体を取り扱うときは、換気に十分注意して、必ず保護メガネ、手袋、マスクなどを着用してください。インクなどの液体が跳ねて、皮膚に付着したり、目や口の中に入ったおそれがあります。



メッセージ“廃インクタンク確認”が表示されたら

- 1 ディスプレイに“廃インクタンク確認”が表示される。

廃インクタンク確認
Level: xx %

- 2 廃インクタンクの中の廃インク量を確認する。

- 実際の量と誤差がある場合は、次の手順に進んでください。
- 実際の量と誤差がなく、廃インクタンクを交換（廃棄処分）する場合は、廃インクタンクを交換してください。☞ [「廃インクタンクを交換する」](#)（P. 32）

- 3 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- メンテナンスメニューが表示されます。

- 4 [廃インクタンク]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- 5 [廃インク量補正]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- 6 ▲▼を押して、レベルを調整する。

- 7 調整が終わったら、[ENTER]キーを押す。

廃インクタンクを交換する

- 廃インクタンクの交換手順(本機右下)

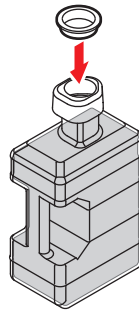
- 1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- メンテナンスメニューが表示されます。

- 2 [廃インクタンク]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- 3 [廃インク量リセット]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- 4 廃インクタンクの取っ手を持ち、スライドさせて外す。
- 5 取り外した廃インクタンクにキャップをはめて、テープなどを使用して廃インクが漏れないように処理する。

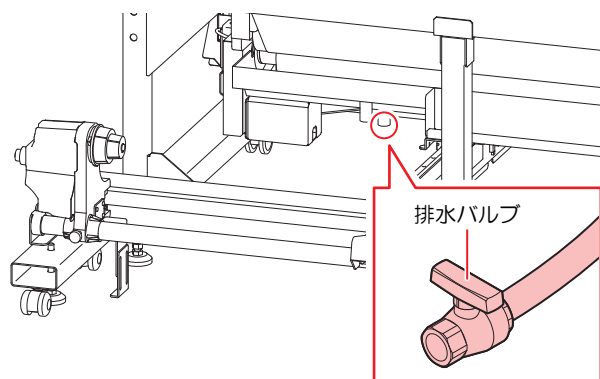


- ・ インクやメンテナンス液、そのほか本機で使用されている液体、インクなどが付着した容器や不織布などを廃棄するときは、産業廃棄物処理業者、または関連法規、および地方自治体の条例に従って処理してください。


洗浄水の交換

ベルト洗浄を行っても搬送ベルトとの汚れが残る場合は、洗浄水を交換してください。かけ流しで使用していない場合は、洗浄水の交換は毎日実施してください。

- 1 ローカルで、[FUNC1 (MENU)] > (▼) > [ENTER] キーを押す。
 - ・ メンテナンスメニューが表示されます。
- 2 (▲)(▼)押しして“ベルトメンテナンス”を選び、[ENTER] キーを押す。
- 3 (▲)(▼)押しして“洗浄水交換”を選び、[ENTER] キーを押す。
 - ・ 洗浄水交換の設定画面が表示されます。
- 4 (▲)(▼)押しして“排水”を選び、[ENTER] キーを押す。
- 5 [ENTER] キーを押す。
 - ・ ディスプレイに“洗浄ユニット移動 しばらくお待ちください”と表示されます。
- 6 ディスプレイに“洗浄水を排水します 排水バルブを緩めてください”と表示されたら、排水バルブの下にバケツなどを置き、排水バルブを開ける。



- 7 [ENTER] キーを押す。
 - ・ 排水が始まり、ディスプレイに“洗浄水排水中 しばらくお待ちください”と表示されます。

- 8 ディスプレイに“排水完了 排水バルブを閉じてください”と表示されたら、排水バルブを閉じる。
 - 9 [ENTER] キーを押す。
 - ディスプレイに“洗浄水を給水しますか?”と表示されます。
 - 10 [ENTER] キーを押す。
 - ディスプレイに“洗浄水を給水します 排水バルブを閉じてください”と表示されます。
 - 11 排水バルブを閉じ、[ENTER] キーを押す。
 - 12 ディスプレイに“洗浄水を給水します”と表示されたら、[ENTER] キーを押す。
 - 給水が始まり、ディスプレイに“洗浄水給水中 しばらくお待ちください”と表示されます。
-
-  • 給水中の水量が多すぎたり、少なすぎたりする場合は、給水バルブのコックで水量を調整してください。
-
- 13 ディスプレイに“給水完了”と表示されたら、[ENTER] キーを押す。
 - 14 [ENTER] キーを押す。
 - ディスプレイに“洗浄ユニットを戻す しばらくお待ちください”と表示されます。
 - 洗浄ユニットが待機位置に戻ると、洗浄水交換の設定画面が表示されます。

洗浄ユニットのメンテナンス

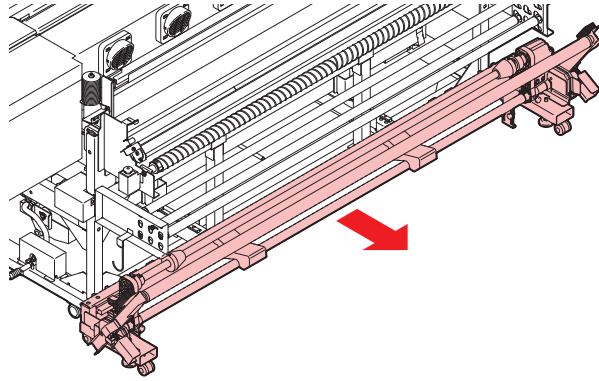
ベルト洗浄ユニットの清掃

ベルト洗浄ユニットをメンテナンス位置に移動し、洗浄ブラシやトレイ内の清掃を行います。

- 1 ローカルで、[FUNC1 (MENU)] > [▼] > [ENTER] キーを押す。
 - メンテナンスメニューが表示されます。
- 2 [▲][▼]を押して“ベルトメンテナンス”を選び、[ENTER] キーを押す。
- 3 [▲][▼]を押して“ベルト洗浄ユニット”を選び、[ENTER] キーを押す。
- 4 [ENTER] キーを押す。
- 5 加圧ローラーを上げ、メディアを外す。
 - メディア取り付け中の場合はメディアを取り外してください。
- 6 [ENTER] キーを押す。
 - 洗浄ユニットの移動指示が表示されます。
- 7 [ENTER] キーを押す。
 - 洗浄ユニットが本機の後方へ移動します。

8 繰出しユニットを取り外す。

- メディアがセットしてある場合は、メディアを取り外してください。
- 繰出しユニットを本機から取り外し、移動してください。



- 繰出しユニット取り外し後に、ENDキー長押しやカバーオープン等によりローカル画面に戻ってしまった場合は、下記の手順で作業をやり直してください。

- (1) 主電源を切る。
- (2) 繰出しユニットを取り付ける。
- (3) 主電源を入れる。
- (4) 再度手順1からやり直す。

9 [ENTER] キーを押す。

- 給水バルブ制御画面に移動します。

10 洗浄ユニットを清掃します。



- 洗浄トレイに水を流したい場合は、[ENTER] キーを押してください。給水バルブが開き、洗浄トレイに給水されます。
- 水を止めたい場合は、もう一度 [ENTER] キーを押してください。給水バルブが閉じます。



- 排水ホースが詰まっていないことを確認してから、給水バルブから水を流してください。排水ホースが詰まった状態で水を流すと、洗浄トレイから水があふれる原因となります。

11 清掃が終了したら [END/POWER] キーを押す。

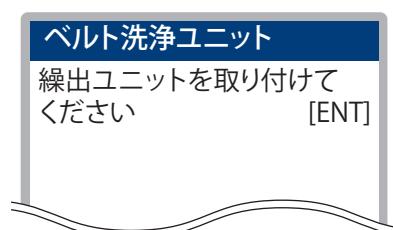
- 終了の確認画面が表示されます。

12 繰出しユニットを取り付ける。

- 取り外していた繰出しユニットを取り付けます。



- 繰出しユニットの取り付けは、必ずこの画面で実施してください。



13 テンションバーを手で持ち上げて[ENTER] キーを押す。



- ・ 繰出ユニットの取り付けが正しくないか、テンションバーを持ち上げない場合、繰出ユニット取り付け画面へ戻されます。

14 繰出しユニットのON/OFFボタンを押す。

15 [ENTER] キーを押す。

- ・ 繰出しユニットが回転しない場合、繰出しユニット取り付け画面へ戻されます。

16 [ENTER] キーを押す。

- ・ 洗浄ユニットが元の位置に戻ります。

17 [ENTER] キーを押す。

- ・ メンテナンスの終了画面が表示されます。

18 [ENTER] キーを押す。

吸水ローラーのクリーニング

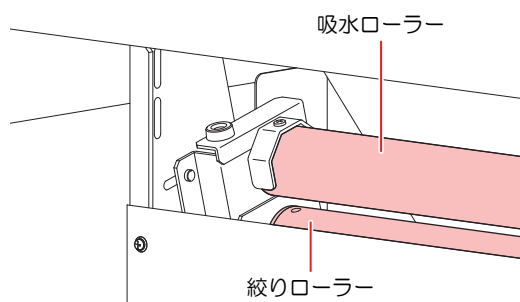
ベルト洗浄を使用していると、吸水ローラーに汚れが蓄積します。良質の作函品質を保つために、吸水ローラーのクリーニングを行ってください。



- ・ 吸水ローラーのクリーニング目安時期を設定すると、クリーニング時期を気にせず作業をすることができます。



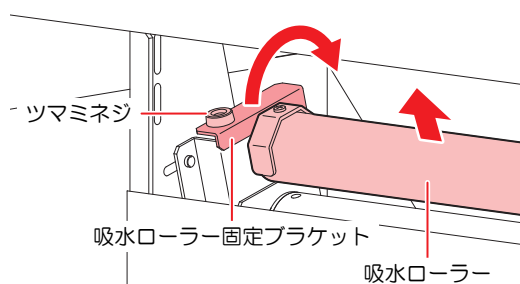
- ・ 洗浄水で床が汚れないように、床にウェス等の紙を敷いてから作業してください。
- ・ ゴム手袋を着用して、クリーニングしてください。



1 「ベルト洗浄ユニットの清掃」 (P. 34) の手順1～7を参照してください。

2 ツマミネジを外し、左右の吸水ローラー固定ブラケットを回転させる。

- ・ 吸水ローラーは本機背面中側にあります。



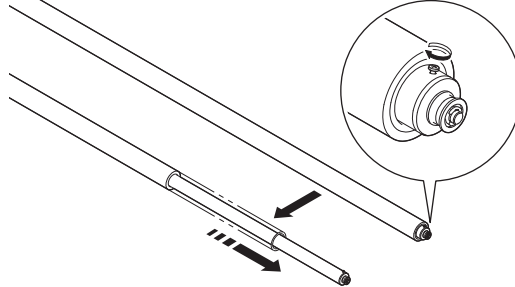
3 吸水ローラーを本機から外す。



- ・ 吸水ローラーを外すときは、2人以上で外してください。

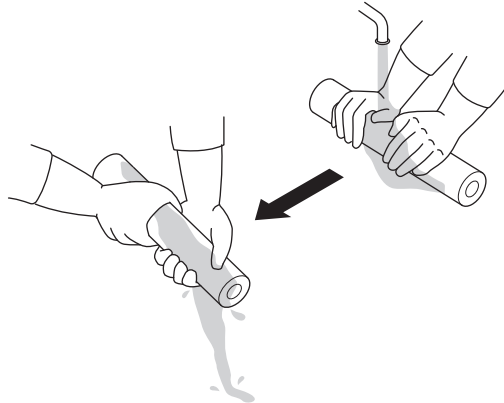
4 吸水ローラーに付いた水を取り除く。

- (1) 両端のネジをドライバーで外し、一コマずつ外して、クリーニングします。



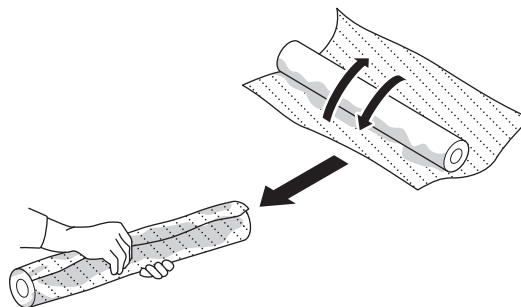
- (2) 水道水などに付け、ローラーに付着した汚れを落とします。

- ・ スポンジは、ねじらないようにしてください。



- (3) 汚れが落ちたら、ベンコットなどのウェスなどにくるみ、水を吸い取ります。

- ・ スポンジは、ねじらないようにしてください。



- (4) 良く乾かしてから元に戻します。

5 吸水ローラーを元に戻す。

- ・ ワーニングメッセージが表示されている場合は、カウンターをリセットしてください。☞ 「[カウンターのリセット](#)」 (P. 51)



- ・ 吸水ローラーにすき間があかないように、中央に寄せて止めてください。

6 清掃が終了したら [END/POWER] キーを押す。

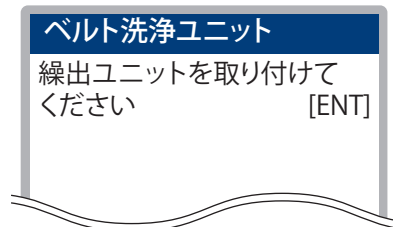
- ・ 終了の確認画面が表示されます。

7 繰出しユニットを取り付ける。

- ・ 取り外していた繰出しユニットを取り付けます。



- ・ 繰出しユニットの取り付けは、必ずこの画面で実施してください。



8 テンションバーを手で持ち上げて[ENTER] キーを押す。



- ・ 繰出しユニットの取り付けが正しくないか、テンションバーを持ち上げない場合、繰出しユニット取り付け画面へ戻されます。

9 繰出しユニットのON/OFFボタンを押す。

10 [ENTER] キーを押す。

- ・ 繰出しユニットが回転しない場合、繰出しユニット取り付け画面へ戻されます。

11 [ENTER] キーを押す。

- ・ 洗浄ユニットが元の位置に戻ります。

12 [ENTER] キーを押す。

- ・ メンテナンスの終了画面が表示されます。

13 [ENTER] キーを押す。

地張り剤の塗り替え

布の接着力が弱くなった場合は、地張り剤を塗りなおす必要があります。本機は、工場出荷時に地張り剤を塗布してありますが、インク、糸くず、ホコリなどで接着力が低下した場合は、地張り剤の塗り替えが必要です。



- ・ 塗り替えの目安
作図した布に正面カバーから出てきた時点で浮きが発生していたら、塗り替え時期です。ディスプレイにワーニングメッセージ“ベルト地張り剤 塗りなおしてください”が表示されたら、速やかに地張り剤を塗りなおしてください。



- ・ 弊社純正の地張り剤は、溶剤系の地張り剤です。必ず有機溶剤用保護マスク、保護メガネ、手袋を着用して、地張り剤の塗り替えを行ってください。
- ・ 換気の悪い部屋、または密閉された部屋で地張り剤の塗り替えを行う場合は、必ず換気装置を設けてください。地張り剤を使用する場合、有機溶剤中毒予防規則を遵守してください。
- ・ また地張り剤の塗り替えを行う場合は、有機溶剤作業主任者技能講習を終了した方、または有機溶剤作業主任者が選任されている方で、作業を行ってください。



- 布が使用前からたるんでいて、搬送ベルトに張り付ける（加圧ローラーを通した）時点で浮き・たるみが発生する場合は、地張り剤が原因ではありません。またその布は使用できません。

地張り剤を剥がす

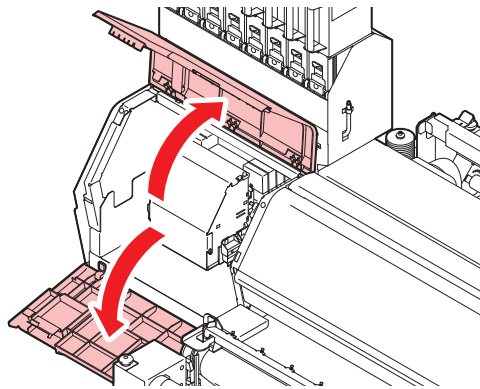
地張り剤を剥がす際には以下の物が必要です。

- 使用するもの
 - ドクタ、手袋
- ご用意していただくもの
 - ウェス
 - 灯油または軽油（約500cc）
 - エタノール（約200cc）
 - トレイのような形状の金属板または耐油性のある樹脂板

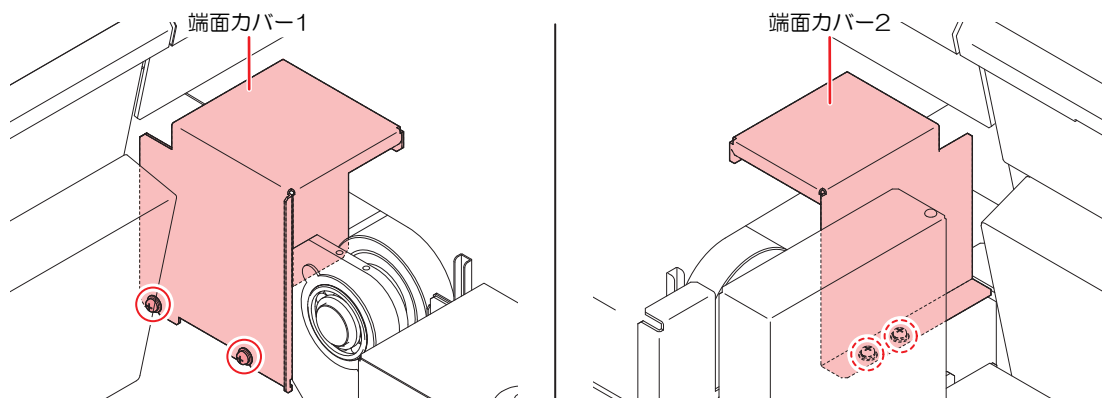


- 口の小さな容器に灯油（軽油）、エタノールを移しておくと便利です。

1 左側のメンテナンスカバーを開く。



2 端面カバー1、端面カバー2を外す。



3 ローカルで、[FUNC1 (MENU)] > [▼] > [ENTER] キーを押す。

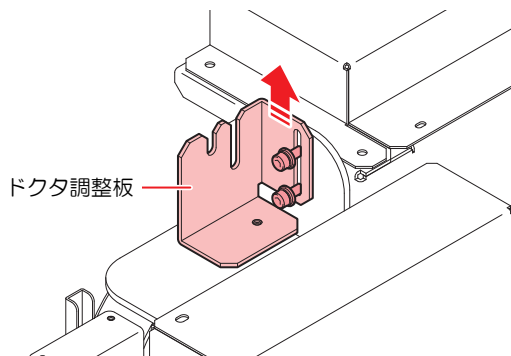
- メンテナンスメニューが表示されます。

4 ▲▼押しして“ベルトメンテナンス”を選び、[ENTER] キーを押す。

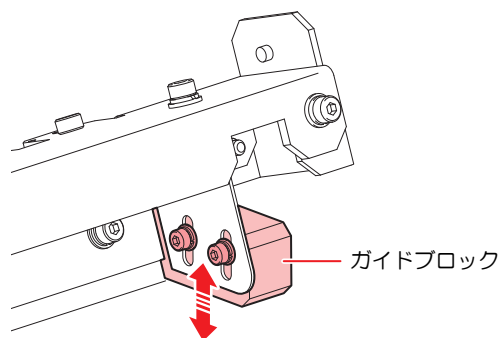
- 5 ▲▼押して“ベルト地張り剤”を選び、[ENTER] キーを押す。
- 6 ▲▼押して“地張り剤を剥がす”を選び、[ENTER] キーを押す。
- 7 ディスプレイに“メディアを外してください”と表示されたら、搬送ベルト上に布がないことを確認し、[ENTER] キーを押す。
- 8 ディスプレイに“加圧ローラーを上げてください”と表示されたら、装置背面の加圧ローラーを上げ、[ENTER] キーを押す。

9 ディスプレイに“ドクタをセットしてください”と表示されたら、本機前面にドクタをセットする。

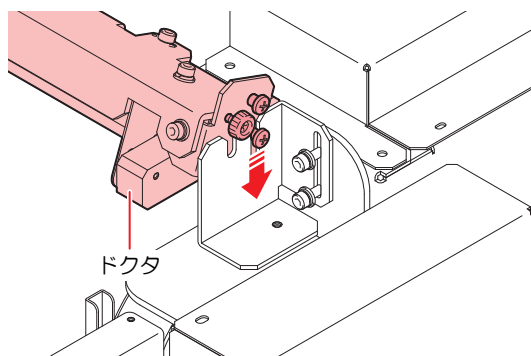
- ドクタとベルトの間に、すき間をあけた状態でセットしてください。
- (1) ドクタ調整板（左右両側）を緩め、上端に移動させて仮止めします。



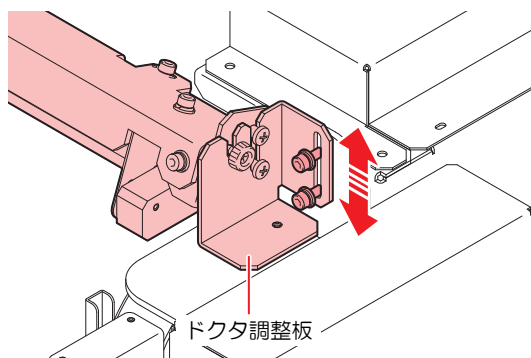
- (2) ドクタのガイドブロック（左右両側）を自重で上下する程度に緩めます。



- (3) ドクタを取り付け、ネジで固定します。



- (4) ドクタ調整板の高さを、ドクタブレードが搬送ベルトにつき当たるあたりに調整し、固定します。



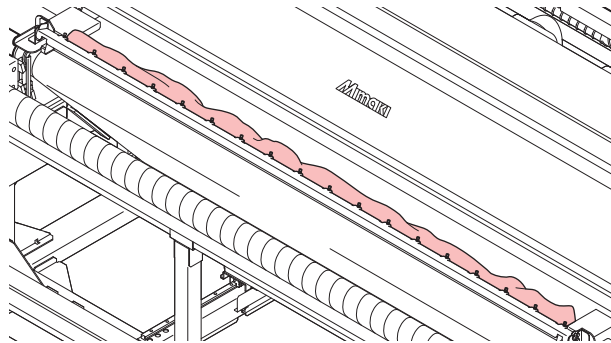
10 ▲▼を押してフィード速度を設定し、[ENTER] キーを押す。

- 設定値：5～60 [mm/s]



- 20mm/sを推奨します。

11 灯油をよくしみこませた布を、搬送ベルト上のドクタの内側に沿うように置く。



12 [ENTER] キーを押す。

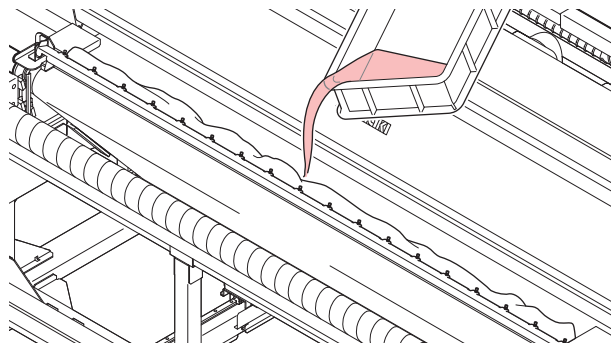
- 搬送ベルトが移動します。



- 搬送ベルトを一時停止する場合は、
 (1) [FUNC2 (PAUSE)] キーを押してください。
 (2) ▲▼を押して“ベルトメンテナンス”を選び、[ENTER] キーを押す。
- フィード速度を変更する場合は、[FUNC1 (SPEED UP)]/[FUNC3 (SPEED DOWN)] を押して調整してください。

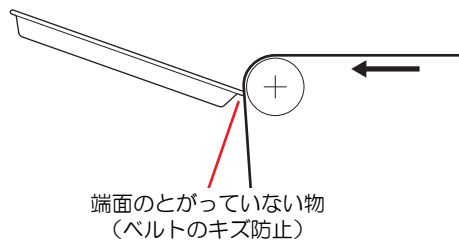
13 布の後ろ側に灯油または軽油を垂らす。

- ベルト表面地張り剤に、灯油または軽油を十分にしみこませてください。



- 地張り剤を剥がす場合、灯油（軽油）を余計に垂らしすぎると、ドクタの端から漏れて搬送ベルトをつたって洗浄水受けに垂れることがあります。
- 灯油（軽油）が洗浄水と混ざると、ベルト洗浄をしながら作図する場合に、地張り剤の接着力を低下させる原因となります。
- 地張り剤を塗り替えてから急に接着力が落ちてしまった場合は、灯油（軽油）が洗浄水に混ざってしまった可能性があります。
- 地張り剤の剥離、塗布後は必ず洗浄トレイを確認し、洗浄水に灯油（軽油）が混ざっていないかを確認してください。
 混ざっていることがわかった場合は、メンテナンスメニューの「洗浄水交換→洗浄トレイ清掃」で、洗浄トレイと洗浄ブラシを清掃してください。☞「[洗浄トレイとブラシの清掃](#)」(P. 48) その後、洗浄水タンクの水を新しい水と交換してください。

14 板の端面を搬送ベルトの外周上に押し当て、灯油（軽油）でゲル状となった地張り剤をそぎ取る。



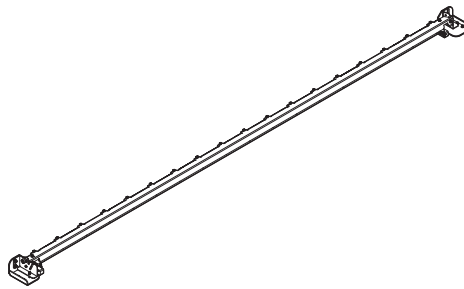
15 ベルト表面の灯油（軽油）をウェスでできるだけ拭き取る。

16 エタノールをしみこませたウェスで残った油脂分を拭き取り、ベルト表面をきれいにする。

17 [END/POWER] キー > [ENTER] キーを押し、搬送ベルトを止める。

18 ディスプレイに“地張り剤カウンターリセットしますか？”と表示されたら[ENTER] キーを押し。
 ・ 地張り剤カウンターがリセットされます。

19 ドクタを外し、付着した地張り剤、ゴミ等を灯油（軽油）とウェスでクリーニングする。



地張り剤を塗る

地張り剤を塗る際には以下の物が必要です。

● 使用するもの

- ・ ドクタ、手袋
- ・ 幅2センチのビニールテープ
- ・ 地張り剤（ポリックスレジンSX 1L）（別売）



- ・ 弊社純正の地張り剤は、溶剤系の地張り剤です。必ず有機溶剤用保護マスク、保護メガネ、手袋を着用して、地張り剤の塗り替えを行ってください。
- ・ 換気の悪い部屋、または密閉された部屋で地張り剤の塗り替えを行う場合は、必ず換気装置を設けてください。
- ・ 地張り剤を使用する場合、有機溶剤中毒予防規則を遵守してください。また地張り剤の塗り替えを行う場合は、有機溶剤作業主任者技能講習を終了した方、または有機溶剤作業主任者が選任されている下で、作業を行ってください。
- ・ 地張り剤の塗り替え作業時は火気厳禁とし、周囲にある装置（ヒーター等）の電源は、必ずOFFにしてください。また、換気を必ず行ってください。



- ・ 市販の地張り剤を使用する場合は、その溶剤成分と本機のベルト材質との相性を必ず確認してください。使用する場合は、弊社代理店または各営業所にご相談ください。
- ・ 本機正面右側にあるベルト補正ユニットの接触エリアとφ6穴近辺には、地張り剤が付着しないように注意してください。装置が正常に動作しなくなります。



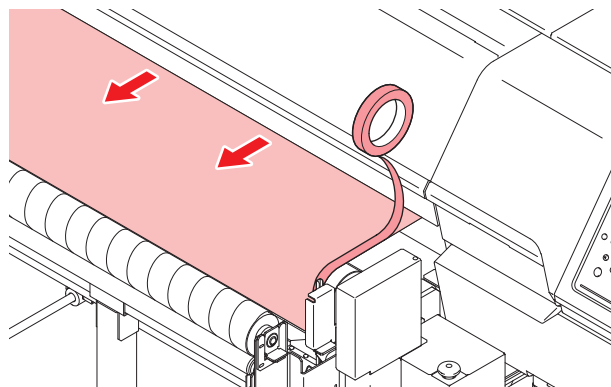
- 搬送不良の原因になることがあるため、地張り剤の重ね塗りは極力避けてください。
- 地張り剤の交換周期の目安は2週間です。（使用状況、メディアの種類によって異なります。）

- 1 ローカルで、[FUNC1 (MENU)] > [▼] > [ENTER] キーを押す。
 - メンテナンスメニューが表示されます。
- 2 [▲][▼] 押して“ベルトメンテナンス”を選び、[ENTER] キーを押す。
- 3 [▲][▼] 押して“ベルト地張り剤”を選び、[ENTER] キーを押す。
 - ベルト地張り剤の設定画面が表示されます。
- 4 [▲][▼] 押して“地張り剤を塗る”を選び、[ENTER] キーを押す。
- 5 ディスプレイに“メディアを外してください”と表示されたら、搬送ベルト上に布がないことを確認し、[ENTER] キーを押す。
- 6 ディスプレイに“加圧ローラーを上げてください”と表示されたら、装置背面の加圧ローラーを上げ、[ENTER] キーを押す。
- 7 搬送ベルトの端にビニールテープを貼る。



- 搬送ベルトの左右両端の外周にテープを貼る必要があります。
- 必要に応じて、2名以上で作業したり、片方ずつ繰り返したりしてください。

- 8 [ENTER] キーを2回押す。
 - 搬送ベルトが移動し、1周すると止まります。搬送ベルトを一時停止するときは、[FUNC2 (PAUSE)] キーを押してください。
 - フィード速度を変更する場合は、[FUNC1 (SPEED UP)]/[FUNC3 (SPEED DOWN)] を押し調整してください。

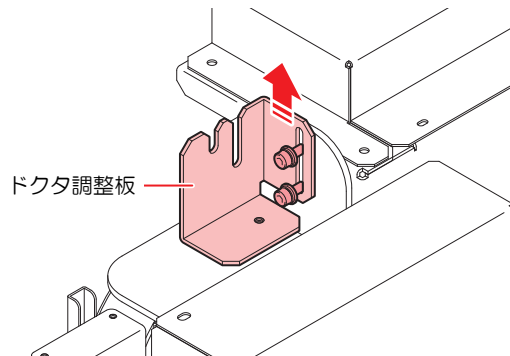


- 9 [ENTER] キーを押す。
 - テープの貼り付けに失敗した場合は、[END/POWER]を選択してください。その後、手順8をもう一度実施してください。

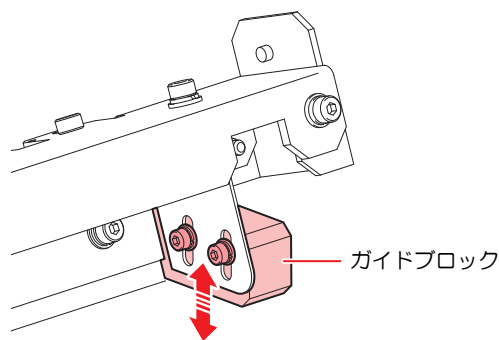
10 ディスプレイに“ドクタをセットしてください”と表示されたら、本機前面にドクタをセットする。

- ドクタとベルトの間に、すき間がないようにセットしてください。

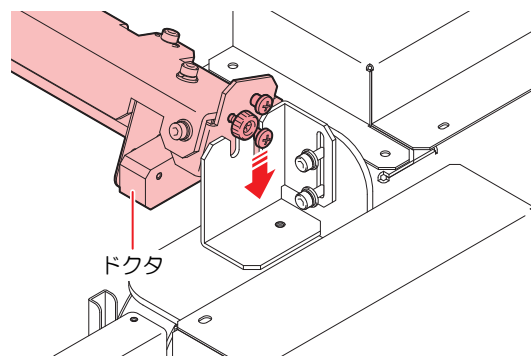
(1) ドクタ調整板（左右両側）を緩め、上端に移動させて仮止めします。



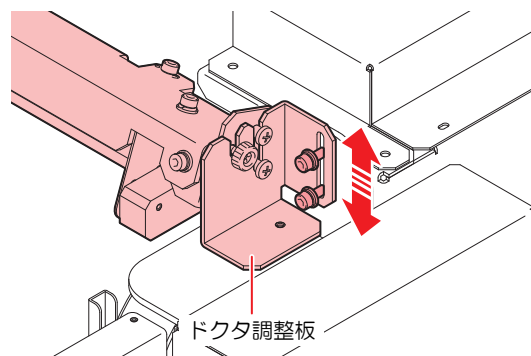
(2) ドクタのガイドブロック（左右両側）を自重で上下する程度に緩めます。



(3) ドクタを取り付け、ネジで固定します。



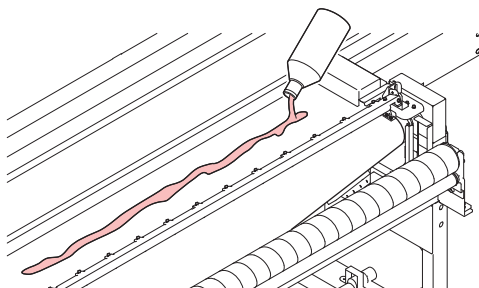
(4) ドクタ調整板の高さを、ドクタブレードが搬送ベルトにつき当たるあたりに調整し、固定します。



11 ▲▼を押してフィード速度を設定し、[ENTER] キーを押す。

- 推奨値：15 m/s

12 地張り剤150 ~ 200cc をドクタのすぐ後ろ側にほぼ均等に垂らす。

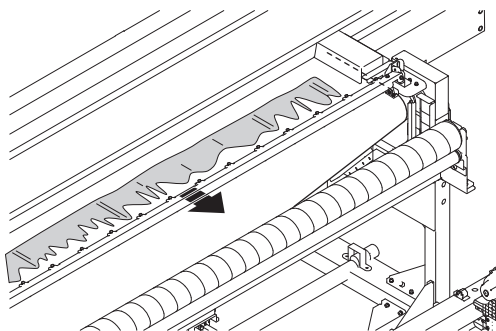


13 [ENTER] キーを押す。

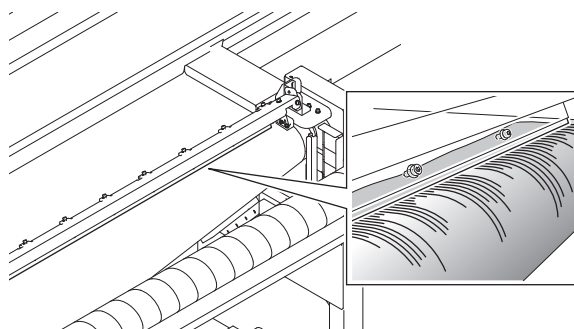
- 搬送ベルトが移動します。



- 地張り剤の粘度が高い場合はベルト速度を速くしてください。
- フィード速度を変更する場合は、[FUNC1 (SPEED UP)]/[FUNC3 (SPEED DOWN)] を押して調整してください。
- 搬送ベルトを一時停止するときは、[FUNC2 (PAUSE)] キーを押してください。移動を再開するときは [FUNC2 (START)] キーを押してください。

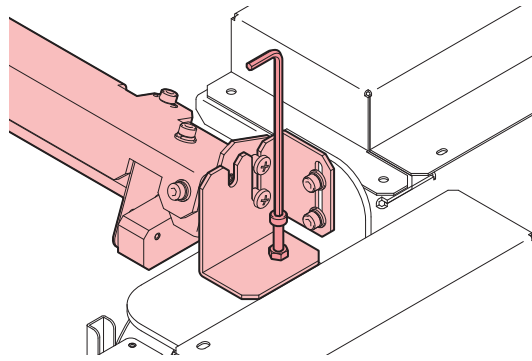


- ドクタに溜まった地張り剤が減った所には、地張り剤を補充してください。
- ベルト全面に地張り剤を塗布してください。
- 地張り剤は全て使い切ってください。

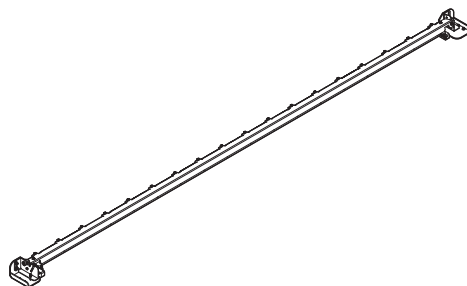




- 地張り剤が減らなくなってきたら、少しずつドクタの高さを上げて厚く塗ってください。
- 地張り剤に凹凸ができてしまうため、一度上げたドクタは下げないでください。



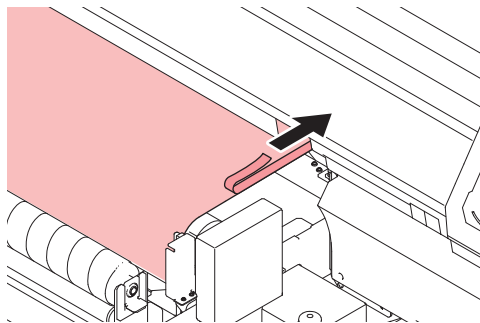
14 ドクタを外し、付着した地張り剤、ゴミ等を灯油（軽油）とウェスでクリーニングする。



15 搬送ベルトの外周に貼ったテープを剥がす。



- テープを剥がすときは、テープを装置後方に押すように剥がしてください。地張り剤がテープから剥離しやすくなります。



16 乾燥時間を設定する場合は、[ENTER] キーを押す。



- 乾燥時間を設定すると、設定時間経過後に自動で搬送ベルトが止まります。
- 地張り剤カウンターはリセットされます。

17 ▲▼を押して、乾燥時間（時）を設定し [ENTER] キーを押す。

18 ▲▼を押して、乾燥時間（分）を設定し [ENTER] キーを押す。

- 乾燥時間のカウントが始まります。
- 止めたい場合は、[END/POWER] キーを押してください。

19 搬送ベルトに塗った地張り剤が乾いたら、[END/POWER] キー > [ENTER] キーを押し、搬送ベルトを止める。

20 ディスプレイに“地張り剤カウンターリセットしますか？”と表示されたら[ENTER] キーを押す。

- ・ 地張り剤カウンターがリセットされます。



- ・ 地張り剤乾燥後、粘着が強すぎる場合は、濡らした布でベルト表面を拭き、地張り剤を慣らしてください。そのまま使用すると、布が貼り付いて剥がれない可能性があります。

洗浄トレイとブラシの清掃

地張り剤の塗り替え作業で、洗浄水に灯油（軽油）が混入した場合は、中性洗剤で洗浄トレイと洗浄ブラシを清掃してください。清掃後は、洗浄トレイの水を新しい水と交換してください。

● 使用するもの

- ・ 中性洗剤



- ・ 清掃を行うときは、必ず付属の保護メガネと手袋を着用して作業を行ってください。

1 ローカルで、[FUNC1 (MENU)] > [▼] > [ENTER] キーを押す。

- ・ メンテナンスメニューが表示されます。

2 [▲][▼]押しして“ベルトメンテナンス”を選び、[ENTER] キーを押す。

3 [▲][▼]押しして“洗浄水交換”を選び、[ENTER] キーを押す。

- ・ 洗浄水交換の設定画面が表示されます。

4 [▲][▼]押しして“洗浄トレイ清掃”を選び、[ENTER] キーを押す。

5 [ENTER] キーを押す。

- ・ 洗浄ユニットが本機の後方へ移動します。

6 ディスプレイに“洗浄トレイ清掃 洗浄ブラシ回転開始”と表示されたら、洗浄トレイに中性洗剤を入れ、[ENTER] キーを押す。

- ・ 洗浄ブラシが回転し、中性洗剤を攪拌します。



- ・ 洗浄ブラシが自動で回転します。手や衣服等が巻き込まれないよう注意してください。

7 洗浄トレイとブラシを清掃する。

- ・ 洗浄ブラシを停止したい場合は、[FUNC2 (PAUSE)] キーを押してください。
- ・ 洗浄ブラシの回転を再開したい場合は、[FUNC2 (START)] キーを押してください。



- ・ 洗浄トレイに水を流したい場合は、[ENTER] キーを押してください。給水バルブが開き、洗浄トレイに給水されます。
- ・ 水を止めたい場合は、もう一度 [ENTER] キーを押してください。給水バルブが閉じます。

8 清掃が終了したら[END/POWER] キーを押す。

- ・ 終了の確認画面が表示されます。

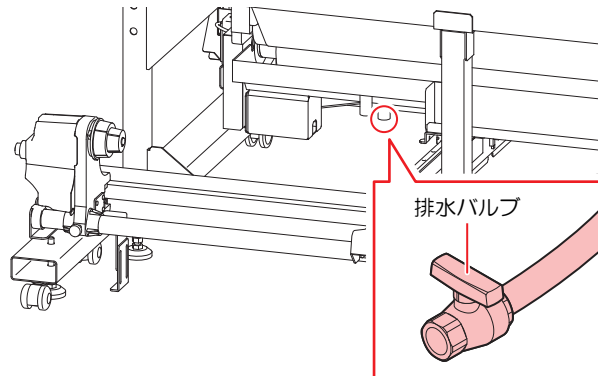
- 9** [ENTER] キーを押す。
- ・ “洗浄水を排水しますか？”と表示されます。

- 10** [ENTER] キーを押し、“排水実行”を選択する。
- ・ 洗浄水の排水メニューに移行します。



- ・ 中性洗剤を使用せず、洗浄水を排水する必要がない場合は、[END] キーを押し、洗浄トレイ清掃を終了してください。

- 11** ディスプレイに“洗浄水を排水します 排水バルブを緩めてください”と表示されたら、排水バルブの下にバケツなどを置き、排水バルブを開ける。



- 12** [ENTER] キーを押す。
- ・ 排水が始まり、ディスプレイに“洗浄水排水中 しばらくお待ちください”と表示されます。

- 13** ディスプレイに“排水完了 排水バルブを閉じてください”と表示されたら、排水バルブを閉じる。

- 14** [ENTER] キーを押す。
- ・ ディスプレイに“洗浄水を給水しますか？”と表示されます。

- 15** [ENTER] キーを押す。
- ・ ディスプレイに“洗浄水を給水します 排水バルブを閉じてください”と表示されます。

- 16** 排水バルブを閉じ、[ENTER] キーを押す。

- 17** ディスプレイに“洗浄水を給水します”と表示されたら、[ENTER] キーを押す。
- ・ 給水が始まり、ディスプレイに“洗浄水給水中 しばらくお待ちください”と表示されます。



- ・ 給水中の水量が多すぎたり、少なすぎたりする場合は、給水バルブのコックで水量を調整してください。

- 18** ディスプレイに“給水完了”と表示されたら、[ENTER] キーを押す。

- 19** [ENTER] キーを押す。
- ・ ディスプレイに“洗浄ユニットを戻す しばらくお待ちください”と表示されます。
 - ・ 洗浄ユニットが待機位置に戻ると、洗浄水交換の設定画面が表示されます。

搬送ベルトのクリーニング

搬送ベルトのクリーニングをします。



- 搬送ベルトをクリーニングする前に、必ず布を搬送ベルト上から外してください。

- 1 ローカルで、[FUNC1 (MENU)] > [▼] > [ENTER] キーを押す。
 - メンテナンスメニューが表示されます。
- 2 [▲][▼]押しして“ベルトメンテナンス”を選び、[ENTER] キーを押す。
- 3 [▲][▼]押しして“ベルトクリーニング”を選び、[ENTER] キーを押す。
 - ベルトクリーニングの設定画面が表示される。
- 4 ディスプレイに“メディアを外してください”と表示されたら、搬送ベルト上に布がないことを確認し、[ENTER] キーを押す。
- 5 ディスプレイに“加圧ローラーを上げてください”と表示されたら、装置背面の加圧ローラーを上げ、[ENTER] キーを押す。
- 6 [▲][▼]を押して洗浄回数を設定し、[ENTER] キーを2回押す。
 - 設定値：1～99回
 - ベルトの洗浄が開始され、ベルト1周するごとに洗浄回数の表示が更新されます。



- 洗浄を中止する場合は、[END/POWER] キーを押し、[ENTER] キーを押してください。

- 7 ディスプレイに“終了”と表示されたら、[ENTER] キーを押す。
 - メンテナンスメニューが表示されます。

引き剥がしセンサのクリーニング

汚れによる引き剥がしセンサの誤動作を防止するため、定期的（1週間に1回程度）に引き剥がしセンサのクリーニングを行ってください。

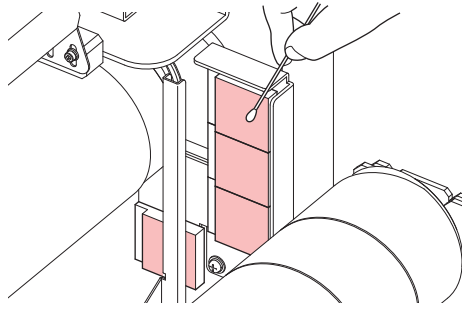


- 引き剥がしセンサは、プリント時に発生するインクミストや、布を乾燥するときに発生する蒸気などの影響で汚れます。

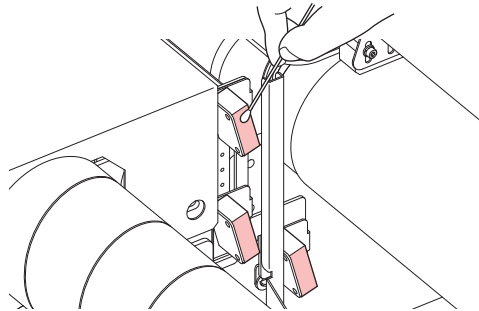
また、以下の症状が発生した場合にも、クリーニングを行ってください。

- 布が引き剥がれずにアラームが鳴る。
- 布がベルトに巻き込まれていないのにアラームが鳴る。

- 1 綿棒にメンテナンス液をしみこませ、反射板を拭く。



- 2 手順1で拭いた反射板を、乾いた綿棒で拭き取る。
- 3 メンテナンス液のしみこんだ綿棒で、引き剥がしセンサの発光面（3つ）を拭く。



- 4 手順3で拭いたレンズを、乾いた綿棒で拭き取る。

カウンターのリセット

地張り剤、吸水ローラーのカウンターを初期化します。

- 1 ローカルで、[FUNC1 (MENU)] > ▼ > [ENTER] キーを押す。
 - ・ メンテナンスメニューが表示されます。
- 2 ▲▼押しして“ベルトメンテナンス”を選び、[ENTER] キーを押す。
- 3 ▲▼押しして“カウンターリセット”を選び、[ENTER] キーを押す。
 - ・ カウンターリセットの設定画面が表示されます。
- 4 ▲▼押しして“地張り剤”または“吸水ローラー”を選び、[ENTER] キーを押す。
 - ・ カウンターがリセットされ、メンテナンスメニューが表示されます。

お手入れのお願い

2025年3月

発行者 株式会社ミマキエンジニアリング
発行所 株式会社ミマキエンジニアリング
〒389-0512
長野県東御市滋野乙2182-3

